令和2年度

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書

令和3年8月

草加市教育委員会

目 次

■ はし	こめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	点検及び評価表の構成	2
5	総合評価結果一覧	4
■ 占ね	食及び評価表	
	スグいけ回収 子ども教育の連携の推進	6
	自ら学ぶ「草加っ子」の育成	10
1-3	心豊かな「草加っ子」の育成	14
1-4	たくましく生きる「草加っ子」の育成	18
1-5	多様なニーズに対応した教育と支援の充実	22
1-6	「草加っ子」の学びを支える指導力の向上	26
2-1	地域とともにある学校づくりの推進	30
2-2	家庭教育への支援	34
3-1	安全安心な学校教育施設の整備・充実	36
3-2	学習環境の整備・充実	38
4-1	生涯を通した多様な学習機会の充実	40
4-2	公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実	42
4-3	文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進	44
4-4	読書活動を支える図書館サービスの充実	48
5-1	学校人権教育の推進	52
5-2	社会人権教育の推進	54
	施策体系外事業	56
■ 沓	料	
	□ 2 年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表 □ 2 年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表	60
	ロースーパー・リー・パー・パステーンにメールが、 現代 ロ市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	61

■ はじめに

1 趣旨

草加市教育委員会では、第三次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」(令和2年度~令和5年度)に基づき、基本理念として掲げる『生きる力を共に教え育てる草加の教育』を推進しております。事務の執行に当たっては、第三次草加市教育振興基本計画の実現に向け具体的な目標値を年度ごとに定め、事務の点検及び評価により、進行管理を行っています。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明 責任を果たすため、令和2年度に実施した教育委員会の事務に関する点検及び 評価の結果を取りまとめたものです。

2 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、第三次草加市教育振興基本計画のうち、令和2年度に取り組んだ16の施策に基づく主な取組の活動内容実績です。

3 点検及び評価の方法

点検及び評価に当たっては、施策に基づく主な取組の活動内容実績、施策の指標 に係る実績値から成果を明らかにすることによって自己評価を行い、課題を明らか にするとともに、次年度以降の取組についてその内容を示し、事務改善を図ります。

点検及び評価の客観性を確保し、知見を活用するため、教育に関し学識経験を 有する点検評価委員から、様々なご意見、ご助言をいただきました。

ご意見等をいただいた点検評価委員は、次のとおりです。

任期:令和3年7月1日から令和5年6月30日まで (50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
中 里 裕 一	草加市PTA連合会幹事
花本広志	獨協大学外国語学部交流文化学科教授
舩 戸 姿 子	人権擁護委員、草加市立小中学校通学区域審議会委員、 元草加市立西町小学校校長

4 点検及び評価表の構成

① 基本構成

第三次草加市教育振興基本計画における「I 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる「草加っ子」の育成」「II 学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の推進」「III 人権を尊重しあう教育の推進」の3つの基本構成です。

② 基本目標

第三次草加市教育振興基本計画における「1 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進」「2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進」「3 教育環境の整備・充実」「4 学びの成果が発揮される生涯学習の推進」「5 人権教育の推進」の5つの基本目標です。

③ 施策

第三次草加市教育振興基本計画における16の施策です。

④ 活動内容実績 主な取組の実施状況及び実績を記載しています。

- ⑤ 令和2年度点検評価委員の意見等 施策ごとに点検評価委員からいただいた意見等を記載しています。
- ⑥ 事務事業費
 施策ごとの予算額、決算額及び予算額並びに財源内訳を記載しています。
- ⑦ 個別事務事業名施策を構成する事務事業名、決算額及び予算額を記載しています。
- ⑧ 成果指標

主に第三次草加市教育振興基本計画で設定した成果指標に対する令和2年度実 績値、令和2年度における目標値及び所属評価・達成状況を記載しています。

9 評価

主な取組の活動内容を踏まえ、成果と課題を記載しています。

① 令和3年度以降の取組

令和2年度の評価を行う時点における令和3年度以降の取組を記載しています。

① 総合評価

令和2年度の施策について、総括的に自己評価を行っています。

基本理念	基本構成	基本目標	施 策
			1-1 子ども教育の連携の推進
			1-2 自ら学ぶ「草加っ子」の育成
		目指す「草加っ子」 (15歳の姿)を 1	1-3 心豊かな「草加っ子」の育成
		章 育む幼保小中を一貫 した教育の推進	1-4 たくましく生きる「草加っ子」の育成
生き	自ら学び、心豊かに、		多様なニーズに対応した教育と支援の 1-5 充実
るしカー	I たくましく生きる「草 加っ子」の育成		「草加っ子」の学びを支える指導力の 1-6 向上
を 共		学校・家庭・地域の	2-1 地域とともにある学校づくりの推進
を教		2 連携・協働の推進	2-2 家庭教育への支援
え 育 て		教育環境の整備・	3-1 安全安心な学校教育施設の整備・充実
る草		3 充実	3-2 学習環境の整備・充実
加の			4-1 生涯を通した多様な学習機会の充実
教育	学びを通して生きる力	学びの成果が発揮	公民館・文化センターの整備と生涯 4-2 学習環境の充実
	II を育む生涯学習社会の 推進	4 される生涯学習の 推進	文化遺産の発掘・保存・活用の 4-3 計画的、継続的な取組の推進
			読書活動を支える図書館サービスの 4-4 充実
	人権を尊重しあう		5-1 学校人権教育の推進
	人権を尊重しあう III 教育の推進	5 人権教育の推進	5-2 社会人権教育の推進

5 総合評価結果一覧

令和2年度総合評価					
1-1	子ども教育の連携の推進	A			
1-2	自ら学ぶ「草加っ子」の育成	В			
1-3	心豊かな「草加っ子」の育成	В			
1-4	たくましく生きる「草加っ子」の育成	В			
1-5	多様なニーズに対応した教育と支援の充実	A			
1-6	「草加っ子」の学びを支える指導力の向上	В			
2-1	地域とともにある学校づくりの推進	В			
2-2	家庭教育への支援	В			
3-1	安全安心な学校教育施設の整備・充実	В			
3-2	学習環境の整備・充実	В			
4-1	生涯を通した多様な学習機会の充実	В			
4-2	公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実	В			
4-3	文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進	В			
4-4	読書活動を支える図書館サービスの充実	В			
5-1	学校人権教育の推進	В			
5-2	社会人権教育の推進	В			
_	施策体系外事業	В			
	A… 2 B… 1 5 C… 0 D… 0				

総合評価基準

A:十分に目標が達成された。

B:相当程度目標が達成された。

C:目標の達成がやや不十分であった。

D:目標の達成が不十分であった。

点検及び評価表

活
動
内
容
実
结

	令和2年度点検及び評価表						
第三基	基本構成	I	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成	担当課名	総合評価		
一次教育振興基本計画	基本目標	1	目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む 幼保小中を一貫した教育の推進	子ども教育連携推進室	۸		
·振 興	施策	1-1	子ども教育の連携の推進	丁CV叙 月 建 捞 推 進 至	A		

目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、自己肯定感等の重要性を周知し、幼保小中・家庭・地域における自己肯定感等の育成を 推進します。

幼保小中を一貫した教育に関する各種資料を「社会に開かれた教育課程」などの学習指導要領で示された理念や概念に沿って見直し、 各園・各校での活用を推進します。

幼児期の教育において、体験的活動が充実し、幼保小の円滑な接続が図られるよう、各園の保育・教育を支援します。 乗り入れ授業等の交流・連携の支援や、研究委嘱を通して、幼保小中を一貫した教育を一層充実させます。

【自己肯定感・自己有用感の育成】

- ・草加市子ども教育連携推進委員会を2回、同専門部会を3回開催して協議を行い、児童生徒アンケートの内容を改定するとともに、 市内小中学校32校を対象に調査を実施しました。
- ・児童生徒アンケートの結果を分析して報告書としてまとめ、自己肯定感・自己有用感や幼保小中を一貫した教育に関わる児童生徒の実態を把握するとともに、各校を支援するための基礎資料としました。
- ・児童生徒の自己肯定感・自己有用感の育成に関する先行研究を調査し、研究委嘱校を中心に各校へ情報提供及び指導を行いました。

【「社会に開かれた教育課程」等を踏まえた指導資料の作成】

- ・令和3年度版草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム、教育課程指導資料(算数・数学)、同(国語)を作成しました。
- ・標準カリキュラムについて、市内小中学校教員と指導主事による5つのワーキンググループを編成して、それぞれ2回の会議を経て 改定案を作成しました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインによる研修会を計画する等、運営方法を見直して、教職員・保育士を対象とした研修会を、全3回開催しました。

【幼児期の教育の充実】

- ・幼稚園、私立認可保育園、認定こども園を対象に、補助金交付に関する手続きが円滑に進むよう、手引きを作成して配布しました。・幼稚園、私立認可保育園、認定こども園38園から補助金交付申請があり、審査の結果、全園に対して補助金を交付しました。市立保育園については、全19園に対して幼児教育の充実を図る活動の実施を支援しました。
- ・子ども教育連携支援員(幼児教育アドバイザー)3人が各園を訪問して保育等の実態を把握するとともに、豊富な保育実践経験に基づく、教育・保育への助言を行いました。

【交流・連携の充実による幼保小中を一貫した教育の推進】

- ・市内全ての中学校区に子ども教育連携教員を配置するとともに、市内14人の県費負担教職員に対して兼務発令の事務手続を行いました。
- ・乗り入れ授業に関わる学校訪問を計画し、兼務発令教員及び子ども教育連携教員が行う乗り入れ授業を参観するとともに、指導・助言を行いました。
 - ・月例報告書等を基に、各中学校区における乗り入れ授業の実施状況を把握し、指導・助言を行いました。

			年 度	元年度 (決算額)		2年度 決算額)		年度 •算額)
		事務事業費	総額(円)	48,654,738		44,867,964		51,876,000
	(財源内訳・単位円)		一般財源	48,654,738		43,952,964		50,238,000
			特定財源	0		915,000		1,638,000
		子ども教育連携推進事業		14,691,570		10,547,521		12,788,000
偱	事	「草加っ子」を育む子ども教育	連携教員配置事業	33,963,168		34,320,443		39,088,000
刀哥矛	事業名		- N. C. W.					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
			成果目標		実績値	〔(令和2年度)	日標値	令和5年度)
		(1) 幼保小中を一貫した教育 育みます。(2) 市内各園への訪問支援を(3) 各中学校区における乗り 目指します。	ります。	(1)	①56.1% ②64.3%	(1)	①80% ②70%	
	(1) 自己肯定感及び自己有用感が高い(子ども教育の連携に関するアンケート						(2)	57園
	指	調査から5段階で評価して、 ①自己肯定感が高い児童 ②自己有用感が高い児童 (2) 訪問支援を行った幼稚園	上位2段階に当たる)児童生徒 生徒の割合 生徒の割合 ・保育園・認定こども園の園数	の割合	(2)	44園 81.9%	(3)	57園 (35園) 70% 当初目標値

所属評価・達成状況

- (1) 児童生徒アンケートの回答項目を4段階から5段階に増やしたことで実績値が低くなりましたが、実態を把握することができまし た。令和2年度実績を今後の基準値として、引き続き自己肯定感及び自己有用感の育成に取り組みます。
- (2) 緊急事態宣言の発令に伴い、予定していた訪問を中止した園もありますが、目標を達成することができました。 (3) 乗り入れ授業に係る学校訪問等により、乗り入れ授業の充実に取り組んだところ、目標を達成することが出来ました。

- ・自己肯定感・自己有用感などの非認知能力は、幼児期から育成した方が良いとされているので、素晴らしい取組をしていると思います。 ・コロナ禍でも市独自に幼保小中一貫教育標準カリキュラム等の作成や改定をされた点は評価できます。実践事例が見やすくて良くでき ていると思います。
- ・子ども教育連携支援員等様々な人員を活用したり、公立保育園だけでなく、私立の保育園・幼稚園や認定こども園なども含めて、市全 体で子どもたちを育てていこうとする取組はとても良いので更に充実させてほしいです。
- ・幼保小中を一貫した教育は、草加の特色であり、幼稚園・保育園・認定こども園に目を向けて力を入れている施策は他の自治体ではあ まりないと思います。

【自己肯定感·自己有用感の育成】〔評価A〕

- ○児童生徒アンケートを通して、自己肯定感・自己有用感に関する児童生徒の実態を把握することができました。
- ○児童生徒の自己肯定感・自己有用感の育成に関する先行研究を調査することで、それを基に研究委嘱校へ情報提供を 行うことができました。
- △各学校において調査結果を教育活動にいかしていくために、調査結果の活用等について周知していく必要があります。

【「社会に開かれた教育課程」等を踏まえた指導資料の作成】[評価A]

- ○指導資料等について、推進委員会、専門部会及び市内教職員との協議を経て、学習指導要領の趣旨や現場で活用しや すい資料へと改定することができました
- ○各種研修会を開催し、実施後にアンケートをとったところ、99.2%の参会者から肯定的な回答を得られました。
- △指導資料等について市内教職員の理解を深め、効果的な活用につなげるため、研修会等を継続的に実施して、周知を 図っていく必要があります。

【幼児期の教育の充実】〔評価A〕

- ○市内の幼稚園、私立認可保育園、認定こども園38園へ補助金を交付するとともに、市立保育園全19園へは活動への支 援を行うなど、幼児教育の充実を図る活動を支援することができました。
- ○子ども教育連携支援員(幼児教育アドバイザー)による各園への訪問支援を、市内の幼稚園11園、市立認可保育園15 園、市立保育園18園、延べ44園において行い、各園の実態に即して教育・保育の質の向上を図ることができました。
- △補助金については、子ども教育連携支援員(幼児教育アドバイザー)による訪問支援等の機会を利用して、より効果的な活 用方法等の事例を集め、各園に周知していく必要があります。 0

評 △訪問支援については、教育・保育の質の向上や、指導資料の有効な活用方法等について指導及び助言を必要としている 画課 園を中心に、対象を拡大して実施する必要があります。

- 【交流・連携の充実による幼保小中を一貫した教育の推進】〔評価A〕 ○関係機関との連携を密にすることで、各中学校区の実情に応じた子ども教育連携教員を配置するとともに、兼務発令に関 する事務手続きを円滑に行うことができました。
- ○各校で実施される乗り入れ授業について、子ども教育連携教員及び兼務発令教員の授業を参観することで、実態を把握 するとともに、指導・助言を通して、その質を高めることができました。
- ○月例報告書等を基に、各中学校区における乗り入れ授業の実施状況について指導・助言を行うことで、年間を通じて乗り 入れ授業の実施を支援することができました。
- △子ども教育連携教員の指導力の向上を図るため、学校訪問の内容を一層充実させていく必要があります。

【自己肯定感・自己有用感の育成】

- ・アンケートを継続して実施することにより、子ども教育の連携に関する児童生徒の実態を把握し、具体的取組を決める基礎 資料とします。
- ・保護者向けリーフレットや子育て講演会の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を育成することの重要性を家庭・地域へ発 信します。
- ・児童生徒の自己肯定感・自己有用感の育成に関する先行研究や実践事例を調査し、指導課と連携しながら各校へ情報提 供及び指導を行います。

【「社会に開かれた教育課程」等を踏まえた指導資料の作成】

- ・各中学校区における15年間を通じたカリキュラムの編成を支援するために、草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを 改定し、内容を充実させます。
- ・草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムや草加市幼保小中一貫教育プログラム等の内容について市内教職員の理解を 深め、効果的な活用につなげるため、研修会を実施します。

【幼児期の教育の充実】

以

- ・幼児教育充実事業補助金の効果的な活用方法等を各園に周知し、各園における教育・保育が一層充実するよう、訪問支 援を充実させます 和
- 訪問支援の概要を私立幼稚園協会や私立保育園長会等で周知し、各園の理解を深めるとともに、より多くの園に訪問でき 3 るようにします。 年

【交流・連携の充実による幼保小中を一貫した教育の推進】 度

- ・乗り入れ授業の実施に係る県費負担教職員の兼務発令の手続や、年間を通じた乗り入れ授業の実施が円滑に進むよう、 各校との連絡調整を緊密に行います。
- 降 乗り入れ授業の効果を一層高めるため、指導訪問などの機会を利用して子ども教育連携教員の指導力の向上を図ります。 ത ・引き続き、教員養成大学等を中心に広く募集し、小中学校を通して指導力を備えた方に声掛けをするなど、関係機関との 取 連携を図りながら、質の高い子ども教育連携教員の確保に努めます。
 - ・特別支援教育を含め、各園・各学校における新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、交流・連携の取組を支 援してまいります。

8

	令和2年度点検及び評価表					
第三基	基本構成	I	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成	担当課名	総合評価	
二次 教育	基本目標	1	目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む 幼保小中を一貫した教育の推進	指導課	В	
振興	施策	1-2	自ら学ぶ「草加っ子」の育成	旧等林	Ь	

自ら学ぶ「草加っ子」の育成に向け、学校における日々の授業を充実させます。また、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、 これらを活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、学びに向かう力、人間性等の涵養を図り、個性を いかし多様な人々との協働を促す教育を推進します。

幼保小中を一貫した教育を推進する中で、児童生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤をつくる活動を充実させるとともに、家庭・地域との 連携・協働を図りながら、確かな学力を身に付ける取組を更に進めます。児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」に取り組めるようにするこ とや各校でのカリキュラム・マネジメントを確立します。

教員がICTを活用し、教科等の指導の工夫・改善による児童生徒の学習意欲の高揚につなげたり、児童生徒の情報活用能力の育成を推 進します。また、児童生徒の発達段階に応じたコミュニケーション能力、課題解決能力、情報活用能力を育成するとともに、情報モラルの向 上を図ります。

全小中学校でALTを活用し、ネイティブな英語力を身に付けられる授業を実践し、児童生徒が言語や文化に対する理解を深め、積極的 こコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、グローバル化に対応した児童生徒を育成します。

学校図書館教育については、草加市子ども読書活動推進計画に基づき、読書活動の推進等を積極的に行います。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】

- ・市内32校の指導訪問で各教科等の公開授業・研究授業を実施し、基礎基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について 具体的に指導しました
- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実現に向けた指導を 行いました

【各種学力調査の実施と分析・活用】

- ・埼玉県学力・学習状況調査(小学校4年~6年、中学校全学年)、草加市学力・学習状況調査(学力調査は小学校3~6年・中学校 1・2年、質問紙調査は小中学校全学年)を実施しました。
- ・調査結果を分析・考察し、学力向上対策研修会を通して各校の課題解決に向けた学力向上プランの見直しや授業改善について教 職員に指導しました。
- ・第2回学力向上対策研修会では、各教科の担当教員と調査結果等の分析・活用方法や授業改善の方策について指導しました。
- ・第3回学力向上対策研修会では、学力向上に係る実践発表及び講演会を実施し、研究成果の普及と学校の教育力の向上、教員の 指導力の向上を図りました。
- ・埼玉県学力・学習状況調査の結果分析・考察を市のホームページに掲載し、市民に広く公表しました。埼玉県学力・学習状況調査 の復習シートも掲載し、家庭でも活用できるようにしました。
- ・学力向上担当指導員の学校訪問を実施しながら成果の上がった取組を共有し、学力向上プランの見直し等の学力向上に向けた取 組を指導・助言しました

【児童生徒の学習に対する支援の充実】

- 一人ひとりの児童生徒に基礎的な知識及び技能を身に付けるために、学習補助員を配置しました。
- ・日本語指導が必要な児童生徒が、日本語を確実に身に付けていくため、国際理解教育補助員を配置しました。
- ・日本に編入してすぐの児童生徒に一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供する日本語指導教室「SOKAいっぽ」に 必要な日本語指導員を配置しました
- ・外国語活動・外国語・英語教育の充実のため、全小中学校に外国語指導助手(ALT)を配置しました。
- ・学校司書を全校に配置し、読書活動の充実を図りました。 動
 - ・必要に応じて学級支援員を配置し、落ち着いた学習環境を整えました。

内 【児童生徒の効果的な学習時間の確保】

容

実

- ・児童が計算や漢字の繰り返し学習ができる時間や場の設定に取り組みました。
- ・児童生徒の学力を向上させる場として草加寺子屋(土曜学習)と中学校放課後学習を開催しました。
- ・中学校放課後学習を市内中学校3校を会場として、5回実施しました
- ・学校訪問や学力向上対策研修会を通して、家庭学習の良い取組の情報を共有しました。
- ・臨時休業のため不足した授業時数は、サタデースクールの1日授業や夏休みの短縮等により、確保に努めました。

【小学校外国語・外国語活動及び中学校英語教育の充実】

- ・小学校中学年の外国語活動や、高学年の外国語に関する研修会を実施しました
- ・全小中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図 ろうとする態度の育成を図り、グローバル化に対応した教育環境づくりを進めました。
- ・中学校における英語検定の実施については、二次対策としてALTとの学習会を実施しました。また、検定結果に対する集計・考察を 行い、次年度実施に向け改善に努めました。

【学校図書館教育の充実】

- ・管理職、司書教諭等を対象に読書活動推進研修会を実施し、読書活動推進プラン委嘱校(花栗中、花栗南小、小山小、両新田中、 新里小、両新田小)の実践発表を行い、成果のあった取組を市内に広めました。また、中央図書館主催の「ビブリオバトル~草加の陣 ~」に読書活動推進プラン委嘱校6校の代表者が参加しました。
- ・学校図書館利用状況を把握するため、全小中学校の学校図書館図書貸出状況調査を行いました。
- ・学校司書配置による成果及び課題や、各校の取組に関する調査を行いました。

事務事業費 (財源内訳・単位円)		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
		総額(円)	209,987,132	232,583,166	236,733,000
		一般財源	209,987,132	225,780,618	236,733,000
		特定財源	0	6,802,548	0
	学力向上推進事業		20,298,373	20,057,168	14,158,000
個事	学校教育補助員配置事業		71,237,866	85,312,923	81,297,000
山業	世事 学校教育補助員配置事業 土曜学習推進事業 英語教育・国際理解教育推進事業		4,835,688	4,474,824	5,315,000
務名			113,615,205	120,888,468	133,786,000
	日本語指導支援事業		0	1,849,783	2,177,000
	成果	目標	実績値(令	和2年度)	目標値(令和5年度)
	学ぶ力を伸ばし、学力の向上		小学校	中学校	全調査種別について、
成	指	標名	国語 —	国語 一	県平均正答率との差を
成果指	全国学力・学習状況調査にお	おける県の平均正答率との差	算数 一	数学 一	0とする
標	小学校 中学科 国語 国語 算数 数学	吾 学			
		所属	評価•達成状況		•

新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、調査が実施されませんでした。

- ・令和2年は突然の臨時休校があり、再開後の分散登校や授業時数を確保するために夏休みの短縮やサタデースクールの活用、家庭と の連携等大変苦労されたと思います。これらをやり切れたことは評価できます。
- ・点数だけでなく、非認知能力を図る指標を検討してみてはいかがでしょうか。
- ・草加では学びの充実のため、各種補助員・支援員を配置していますが、これは継続と充実をしてほしいです。また、予算に限りがありま すが、できれば常勤に近い形で時間や回数を増やしてほしいです。
- ・日本語指導教室(SOKAいっぽ)は、外国籍の子どもたちにとって貴重な場であると思うのでこれからも続けてほしいです。
- ・寺子屋(土曜学習)について、様々な人たちが関わってくれていると思いますが、新たに足立区に文教大学ができたので、獨協大学、上野学園に続いて、今後連携していくのも良いと思います。文教大学の学生に子どもたちに教えることの楽しさを感じてもらうこともできるの ではないでしょうか。
- ・寺子屋(土曜学習)は学校が会場になっていますが、働き方改革の観点からすると教員の負担になるのと人手不足の観点からも、今後 何か違う視点で検討できると良いと思います。
- ・家庭学習がクローズアップされ、タブレットも配布されていますが、これは先生も児童もきちんと使いこなせるようにしなければならないと 思います。
- ・家庭学習はとても重要ではありますが、家庭によっては困難なこともあるので、何か良い方法を探って進めてほしいです。
- ・読書と学力の関係は昔から言われており、全小中学校で取り組むようなことがあれば全体の底上げになるのではないかと思います。
- ・子どもは何かきっかけがあると始めたりするものなので、読書に興味を持つ取組を考えてほしいです。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】〔評価B〕

- ○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底について指導し、各校の日々の授業を改善していくことで、市学力調査の 結果から児童生徒の学力の定着が見られました。
- △児童生徒が日常生活と結び付けて学習ができるようにするとともに、基礎・基本の着実な定着を図る必要があります。

【各種学力調査の実施と分析・活用】〔評価B〕

- ○県・市の学力・学習状況調査について市全体や各校の分析を行い、各校の実態に合わせた学力向上に係る具体的取組 について計画し、実践することができました。
- △児童生徒の学力向上に向け、教育委員会と学校が協働して実効的な取組を行う必要があります。

【児童生徒の学習に対する支援の充実】〔評価B〕

- ○学習補助員、学力向上推進補助員、国際理解教育補助員、日本語指導支援員、学校司書、学級支援員、外国語指導助手(ALT)を配置し、学習に対する個への支援や学習環境を整えることがました。
- 日本語指導教室「SOKAいっぽ」において、年間を通して、15人通室し修了しました。
- △学習補助員、学力向上推進補助員、国際理解教育補助員、日本語指導支援員、学校司書、学級支援員、外国語指導助手(ALT)の活用を通じて、児童生徒の学習に対する支援の一層の充実を図る必要があります。

【児童生徒の効果的な学習時間の確保】[評価B]

- ○草加寺子屋(土曜学習)を円滑に運営することや中学校での業務委託による放課後学習の実施により、児童生徒の学習時間を確保することができました。
- - △保護者と連携した家庭学習の良い取組を広く周知していく必要があります。

【小学校外国語・外国語活動及び中学校英語教育の充実】〔評価A〕

- ○小学校外国語活動担当教員を対象とした研修会を実施し、小学校から中学校への円滑な接続を支援する体制を整えまし た
- ○中学校3年生の3級取得率が54%に上がり、国の目標値に到達しました。
- △小学校5、6年生の外国語科、小学校3、4年生での外国語活動の更なる充実が必要になります。
- △中学校新学習指導要領全面実施に伴い、更なる準備が必要になります。
- △中学校の英語検定の実施について、次年度実施に向け更なる改善が必要となります。

【学校図書館教育の充実】〔評価B〕

- ○読書活動推進研修会において、効果のあった取組事例を周知することができました。
- ○充足率100%を維持しながら、児童生徒一人当たりの学校図書館図書の貸出数の増加が見られました。
- △学校図書館の利用状況等を把握のため、学校図書館図書貸出状況調査や学校司書配置による成果及び課題や各校の 取組に関する調査を継続して行う必要があります。
- △学校によって一人当たりの学校図書館図書の貸出数に差があります。引き続き、読書活動推進研修会等で成果のあった 取組(ビブリオバトルを含む)を全校に広める必要があります。
- △学校図書館を活用した授業を充実させる必要があります。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】

- ・指導訪問等で「指導の基」を用いた指導・助言を行い、「草加っ子の基礎・基本」の定着を図ります。
- ・指導訪問等を通じて「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のポイント等を指導することで、各校の学力向上を図ります。

【各種学力調査の実施と分析・活用】

・各校の授業改善や児童生徒の自己肯定感や自己有用感を育むために、学力向上対策研修会を開催し、全国、埼玉県、草加市学力・学習状況調査の分析結果を市内各校に周知するとともに、各校での課題解決に向けた取組を支援します。 ・指導主事、学力向上担当指導員の学校訪問を実施し、授業改善を始め学力向上プランの見直し等について指導・助言し

【児童生徒の学習に対する支援の充実】

- ・児童生徒一人ひとりに基礎的な知識及び技能を身に付けていく補助として、学習補助員や学習指導補助員を配置し、学習支援の充実に取り組みます。
- ▶・日本語指導を必要とする児童生徒が日本語を確実に身に付けていく支援として、国際理解教育補助員を配置します。
- ・外国語・外国語活動及び英語教育の充実のため、全小中学校にALTを配置します。
- ☆・読書活動の充実を図るため、全小中学校に学校司書を配置します。
 - ・落ち着いた学習環境を整え、個に応じた支援の充実を図るために、必要に応じて学級支援員を配置します。
- 年 ・日本に編入してすぐの児童生徒に一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供する日本語指導教室「SOKA」いっぽ」に必要な日本語指導支援員を配置します。

度 【児童生徒の効果的な学習時間の確保】 ・旧音が計算の漢字の過い同一学習ができ

- ・児童が計算や漢字の繰り返し学習ができる時間や場の設定に取り組みます。
- 降 ・小学校において児童の学力を向上させる場として草加寺子屋(土曜学習)を5月から13回開催します。
 - ・学校訪問等を通して、家庭学習の効果的な学校の取組を共有します。
- ▼ ・中学校放課後学習の効果について検証していきます。

【小学校外国語・外国語活動及び英語教育の充実】

- ・小学校の外国語・外国語活動の授業の充実を図るため、委嘱校の取組を市内各校に広めます。
- ・外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るため、全小中学校に語学指導助手(ALT)を配置するとともに、グローバル化に対応した教育環境づくりを推進します。
- ・小学校の外国語・外国語活動から中学校外国語科へ円滑に接続させるための研修会を開催します。
- ・中学校3年生の英語検定の実施について、国の目標(50%取得)に向け、毎年到達できるよう、更なる事業の推進に努めます。

【学校図書館教育の充実】

- ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導訪問等で学校図書館の機能をいかした授業改善等について指導します。
- ・充足率100%以上を維持し、児童生徒の読書に対する関心を高め、各校の読書活動を推進するため、読書活動推進研修会を開催します。

	令和2年度点検及び評価表					
第三基	基本構成	I	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成	担当課名	総合評価	
三次教育振興基本計画	基本目標		目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む 幼保小中を一貫した教育の推進	指導課	В	
振興	施策	1-3	心豊かな「草加っ子」の育成	旧等砵	Б	

子どもたちの規範意識の低下や人間関係の希薄化、いじめ、不登校などの様々な課題を解決するため、幼保小中を一貫した教育を推進し、子どもたちの豊かな人間性・社会性を育むとともに、全教育活動を通して、道徳教育や「いのちの大切さ」を実感する教育を充実させます。また、幼児期から、人や自然との関わりを広げる豊かな体験活動を通して、感性の形成やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、音楽や自然との触れ合いなどの体験活動や読書活動をより一層充実させます。

「学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」や各校の「いじめ防止学校基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努め、関係諸機関と連携を密にしていじめ撲滅に取り組みます。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】

- ・指導訪問において規律ある生活の基礎・基本の定着を確認するとともに、全体会等で「豊かな心の育成」について教職員に指導しました。
- ・草加市学力・学習状況調査の質問紙を分析し、各校に周知しました。

【道徳教育の充実】

- ・「草加市道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」として、モデル校への支援、外部指導者の派遣、道徳教育推進教師を対象 にした研修会を開催し、「考え、議論する道徳」への転換について指導しました。
- ・指導訪問等において、「特別の教科 道徳」の授業を参観し、個別に指導することにより授業改善を図りました。

【「いのちをつなぐ教育」の推進】

- ・「いのちを大切にする教育」を推進するため、日本赤十字社から提供を受けた造血幹細胞移植等に関するパンフレット資料を小学校 5年生と中学校2年生の児童生徒全員に配布しました。
- ・「いのちをつなぐ教育」として、小中学校32校で日本赤十字社から提供を受けた造血幹細胞移植等に関するパンフレット資料や動画 を活用した授業を実施しました。

【音楽教育の推進】

- ・学校クラスコンサートを全小学校21校で実施しました。
- ・市内音楽祭や南部南地区音楽祭が中止になりました。
- ・市教育研究会と連携して、授業研究会を実施しました。
- ・児童生徒対象の吹奏楽実技研修会を中止しました。

【自然と触れ合う体験活動の推進】

- ・学校の教育活動を通して、自然体験活動が実践できるよう指導訪問等を通じて、指導・助言しました。特に学校農園において自然に触れる体験や問題解決型学習を実践することができました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自然教室推進事業は中止となりました。
- ・現地研修はできませんでしたが、昭和村自然教室の手引きを作成することができました。
- ・草加市奥日光自然の家の在り方等検討委員会の報告を踏まえ、市長及び市議会に説明を行いました。

舌【読書活動の推進】

・管理職や司書教諭等を対象に、児童生徒の読書活動を推進するための読書活動推進研修会を実施し、「読書活動推進プラン」委嘱校6校(新里小、両新田小、両新田中、花栗南小、小山小、花栗中)の実践発表等を行い、効果のあった取組を市内に広めました。

実

- ・Web会議システムを活用して、学校警察連絡協議会を開催しました。
- ・他室と連携しながら、臨床心理士等の巡回相談を実施しました。
- ・各校において、学級集団アセスメント検査を実施し、学級経営に活用しました。
- ・各校において、いじめの早期発見、早期対応のためのいじめアンケートを5回以上実施しました。
- ・いじめ等相談アプリ「STOPit」を中学校の全学年に導入し、いじめの未然防止・早期発見に努めました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「いじめ撲滅サミット」を中止とし、各校のホームページにいじめ防止の取組を掲載しました。
- ・草加市いじめ問題対策連絡協議会等条例に基づき、草加市いじめ問題対策連絡協議会を開催しました。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	110,980,765	74,877,779	132,491,000
(財源内訳・単位円)		一般財源	93,979,042	57,485,653	112,492,000
		特定財源	17,001,723	17,392,126	19,999,000
	豊かな心推進事業		1,221,262	17,617,446	156,000
個	音楽教育推進事業		1,536,520	769,475	1,820,000
別	自然教室推進事業		55,093,711	43,010	66,521,000
事務事業	生徒指導推進事業		48,898,968	53,361,651	60,108,000
事	いじめ撲滅推進事業		4,230,304	3,086,197	3,886,000
業名					
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	時と場に応じて自ら行動し、だす。				
		①98.6%	①100%		
成果指標	「草加っ子の基礎・基本」にお 割合 ①小学校 ②中学校	ける規律ある生活が定着(80%	②100 %	②100%	
標	OT TIX	所屋:	評価・達成状況		

小学校は2年生の1項目(机やロッカーの整理をすることができる)だけ達成せず、中学校は目標値を達成しました。「草加っ子の基 礎・基本」を様々な場面で周知し、規律ある生活が身に付くよう指導します。

- 道徳教育について、「考え、議論する道徳」はとても重要な考え方だと思います。憲法的な価値を前提にした議論をしてほしいです。
- ・道徳教育として、弁護士の出前授業など法教育を考えてはどうでしょうか。
- ・「いのちをつなぐ教育」は、とても大事な教育であるため、今後も継続していくことが必要であると思います。また、こういった教育をしてい ることをPTA等に発信してはどうでしょうか。
- ・コロナ禍で運動会、遠足や修学旅行も行えない中、学校クラスコンサートが全小学校で開催できたことは良かったと思います。プロの演 奏を聴くことで、子どもの感性が養われると思うので継続してほしいと思います。
- ・国立青少年教育振興機構において、試行的に自然教室を実施するということですが、小中ともに日光ではなくて、小中で別々にするの
- もいいかもしれません。
 ・読書活動の推進は、三郷市が力を入れてやっていると思うので参考にしてみてはどうでしょうか。また、子ども教育連携推進室とも連携し、就学前から読み聞かせを充実させる等、読書に光を当てていくと学校に入った時に良いと思います。
- ・「STOPit」について、子どもたちはスマホ世代で、対面でなくても良いということから、相談しやすいと思うので、中学生だけでなく小学 校高学年も対象としてはどうでしょうか。
- ・スクールロイヤー制度があるので、そういう制度を活用しての連携もあっても良いかもしれません。
- ・規律ある生活について、過度なものがあると、それ自体がいじめにつながってしまうこともあるので注意が必要であると思います。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】〔評価B〕

- ○規律ある生活アンケートの結果において、全体として全ての項目において80%以上の達成率となり、向上が見られました。
- △草加市学力・学習状況調査の結果から、各学年の調査項目の達成率が低い部分について、改善を図る必要があります。

【道徳教育の充実】[評価B]

- ○全校において道徳教育推進教師を中心に「特別の教科 道徳」の研修を行い、授業改善の充実が図れました。
- △各校での「特別の教科 道徳」の実践を共有し、さらに、指導法や評価について研究を深めることが必要です。
- △文部科学省発行の「私たちの道徳」、埼玉県教育委員会発行の「彩の国の道徳」を学校の実態に応じて、年間指導計画 に位置付けていくことが必要です。

【「いのちをつなぐ教育」の推進】〔評価B〕

○児童は、造血幹細胞移植等の授業を通して、いのちの大切さやいのちのつながりについて考えることができました。 △いのちの教育グランドデザインを基に、各校で「いのちを大切にする教育」の授業を計画的に実施し進めていく必要があります。

【音楽教育の推進】〔評価B〕

- ○全小学校で学校クラスコンサートを実施し、プロの演奏を聴くことを通して、豊かな感性を育てる一助となりました。
- ○授業研究会を実施することで、教員の指導力向上を図ることができました。
- △新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を踏まえた研修会の在り方を検討する必要があります。

【自然と触れ合う体験活動の推進】〔評価B〕

- ○学校農園において自然に触れる体験や問題解決型学習を実践することができました。
- ○昭和村自然教室の手引きを作成したことにより、見通しをもった計画と事前学習が可能となりました。
- △今後の自然教室推進事業の継続に向けて、関係機関との連絡を図る必要があります。

【読書活動の推進】〔評価B〕

- ○読書活動推進研修会において、読書に関心をもたせる取組(ビブリオバトル等)を周知することができました。
- ○「読書活動推進プラン」委嘱校の実践を市内に広めることができました。
- △管理職や司書教諭等を対象とした、効果的、実践的な研修会を継続して行う必要があります。
- △学校図書館の一層の充実を図るため、効果的な取組等を引き続き周知していく必要があります。

【生徒指導の充実】〔評価B〕

- ○Web会議システムを活用して、学校警察連絡協議会を開催することで、市内の情報を共有することで各校の取組の参考にすることができました。
- ○全小中学校でのいじめアンケート5回以上の実施やいじめ等相談アプリ「STOPit」の導入など、いじめの早期発見や早期対応ができる体制を整備しました。
- ○「いじめ撲滅サミット」は中止となりましたが、各校におけるいじめ撲滅に係る取組を学校ホームページへの掲載を通して、 自分たちの力でいじめを撲滅しようとする心情や態度を育てました。
- ○草加市いじめ問題対策連絡協議会を開催することで、市としていじめ問題への対応を適切に行うことができました。
- 成 △いじめ問題の撲滅のために、市や各校でこれまで以上に組織的に取り組む必要があります。
- **果** △不登校やいじめ、暴力行為等の問題行動に対して未然に防ぐための取組を進める必要があります。
- ○○○○市内の情報共有やいじめ防止対策のための会議を計画的に開催する必要があります。
 - △いじめ等相談アプリ「STOPit」の登録数を上げる必要があります。

価課題

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】

- ・「礼を正し、場を清め、時を守る」などの規律ある生活については、草加市学力・学習状況調査の結果から大幅に改善されて きています。しかし、今後も更なる徹底(特に、昨年度の課題である机やロッカーの中の整理整頓)を図る必要があり、指導訪 問等を通じて各校の取組について指導・助言します。
- ・他課・室と連携し、生活習慣の改善等の良い取組を広く学校に周知します。
- 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を徹底し、授業を支える学習規律の更なる徹底を図ります。

【道徳教育の充実】

- ・道徳教育推進教師を対象とした指導法の改善及び評価に関する研修会を開催します。
- ・文部科学省発行の「私たちの道徳」、埼玉県教育委員会発行の「彩の国の道徳」を活用した授業ができるよう、指導・助言し ます。

【「いのちをつなぐ教育」の推進】

- ・「いのちを大切にする教育」を推進するため、小中学校での造血幹細胞移植等に関する学習を支援します。
- ・指導訪問等を通じて、各校の「いのちの教育グランドデザイン」について指導・助言します。

【音楽教育の推進】

- ・児童生徒の豊かな心を育むため、プロの演奏を直接聴く学校クラスコンサートを始め、市内音楽祭や埼玉県小・中学校音楽 会南部南地区大会を支援します。なお、令和3年度市内音楽祭、令和3年度埼玉県小・中学校音楽会南部南地区大会は中 止となりました
- 豊かな心を育むための授業改善を図るため、授業研究会を開催します。
- ・合唱や合奏などの活動で互いに認め、助け合いながら真剣に取り組むことを通じ、人との望ましい関わり方を学ぶことができ るよう、吹奏楽実技研修会、指導及び評価研修会を開催し、音楽教育の充実を図ります。

【自然と触れ合う体験活動の推進】

- ・児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさに触れる体験を通し、豊かな感性を育みます。また、仲間との触れ合いを通じ、 より良い人間関係を築き、心豊かな児童生徒の育成を目指します。
- ・福島県昭和村、国立青少年教育振興機構(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)での自然教室がより効果的に実施できるよう、現 地研修を計画し手引きの作成をします。
- ・国立青少年教育振興機構(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)を活用した自然教室を市内4校で実施し、自然体験活動や集団 宿泊的活動の実施内容を検証いたします。

【読書活動の推進】

- 管理職や司書教諭等を対象とした、効果的、実践的な研修会を実施します。
- 「読書活動推進プラン」委嘱校と連携し、読書活動の成果のあった取組やビブリオバトル等の読書への関心を高める取組等 を市内各校に広めます
- ・各校における学校図書館の充実を図るための取組や学校図書館利用状況把握のための、学校図書館図書貸出状況調査 を実施します

【生徒指導の充実】

- ・関係機関が一体となった指導を行うため、学校と家庭・地域、警察などとの連携を図ります。
- 学校警察連絡協議会等の会議や研修を充実させます。
- 年 ・いじめや不登校、暴力行為の未然防止に向けて、学級集団アセスメント検査(Q-U検査)を実施するとともに不登校生徒対 度 応に重点を置く中学校学習補助員を配置します。
- 以 ・市のいじめ防止基本方針、各学校のいじめ防止学校基本方針を指針として、定期的にいじめ対策委員会を開催し、いじめ 降 問題の未然防止、早期発見に努めます。
- ത ・引き続き、いじめ等相談アプリ「STOPit」を中学校全学年に導入します。「STOPit」の登録数を上げるよう努めます。
 - ・「いじめ撲滅サミット」を開催し、自分たちの力でいじめを撲滅しようとする心情や態度を育てます。
 - ・いじめ防止対策のために草加市いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査対策委員会等を開催します。

和 3

取 組

令和2年度点検及び評価表 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 基本構成 Ι 担当課名 「草加っ子」の育成

総合評価 次基 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む 次 教 計 1 基本目標 幼保小中を一貫した教育の推進 指導課 育 В 画 振 学務課 1-4 たくましく生きる「草加っ子」の育成 施 興

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かな人生を送れるよう、力いっぱい運動し、しっかり食事をとり、 ぶっすり睡眠をとる、健康でたくましい児童生徒の育成を目指します。そのために、幼保小中を一貫した教育を推進する中で、草加市体力向 上推進委員会と連携しながら、体力・運動能力の向上に向けた取組を推進します。子どもたちが楽しみながら様々な動きを体験することによ り運動が好きになり、運動の特性に応じた知識及び技能を身に付けることができ、その積み重ねにより、体力・運動能力の向上を図ります。 また、「草加市中学校部活動の方針」を基に、中学生のよりよい部活動の実践を図ります。

学校給食業務では、給食事業全体の収支を踏まえ、市内の地場産の食材、埼玉県内産の食材を積極的に活用するとともに、アレルギー 対策などを講じ、安全でおいしい草加の給食を提供します。また、給食費の公会計化が円滑に推進できるように準備を進めます。

栄養教諭を中心とした家庭科や特別活動等の授業等で栄養バランスのとれた食事、朝食の摂取率を高めるだけでなく、どのような朝食 を、どのような状況でとっているのかを意識させ食育の充実を図ります。

学校保健を充実し、健康でたくましい児童生徒の育成を図ります。

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】(指導課)

・指導訪問や授業研究会等を通して、体育、保健体育の授業で児童生徒の体力向上を図るための手立てを講じるよう指導を行いまし

【体力向上プランの改善】(指導課)

- ・新体力テストで自校の体力について分析し、明らかになった課題解決のために、授業における補強運動を始め各校で体力向上に取 り組みました
- ・体力向上推進委員会で体力向上に向けた検討を行い、体育、保健体育の授業改善やなわとび強化月間、広報誌「草加っ子」での 実践事例の紹介など、体力向上に向けた取組を行いました。

【体育・保健体育の授業の改善】(指導課)

- ・小中学校体育連盟及び草加市体力向上推進委員会と連携して授業研究会を実施し、小中学校の教員が参加し、体力向上を図る指 導方法を共有しました
- ・草加市体育科・保健体育科教員研修会を行い、草加市の体力の現状や体力向上についての取組例の紹介やなわとび運動の奨励 など、体力向上のための具体的な取組を指導しました。

【運動の日常化の推進】(指導課)

- ・始業前、業間、放課後、長期休業中等、身体活動の時間を確保しました。
- ・「草加っ子なわとび強化月間」では、広報誌「草加っ子」でなわとびの基本について周知してなわとびの奨励を図り、運動の日常化を 推進しました
- ・市内小中学校なわとび大会の代替として「なわとびチャレンジ2020」を各校で実施し、体力の向上を図るとともに、日常的に運動に 親しむ意識の高揚を図りました。

【生活習慣の改善】(指導課)

- ・体力向上推進委員会と連携し、家庭とも協力しながら、各校では、教科や特別活動、総合的な学習の時間等で朝食の摂取、テレビ 等の視聴時間、睡眠時間の確保等、生活習慣の改善に取り組みました。
- ・「草加っ子の基礎・基本」を徹底し、健康への意識の高揚を図りました。

【中学校部活動の推進】(指導課)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が続く中においても、部活動や大会の代替試合ができるよう、進めてきました。
- ・部活動に対する指導体制の充実を図るために、部活動指導員を6人配置しました。
- 内 ・中学校に部活動外部指導者を派遣し、生徒の活動を支援しました。
- ・全国大会出場の横断幕を作成し、広く周知するとともに、出場生徒のための大会参加補助金を交付しました。 容

【学校給食の推進】(学務課)

動

- 実 ・献立会議(10回)を実施しました
 - ・備品の購入、修繕及び食缶など、消耗品の補充を適切に行いました。
 - ・腸内細菌検査を定期的(月2回)に実施しました
 - ・地場産食材の導入を推進し、調査を通じて使用状況を確認しました。目標値30t、実績値31.5t。
 - ・提供食について放射性物質検査を行いました。
 - ・緊急事態宣言の発令に伴い、学校が臨時休業となり、給食食材のキャンセルができずに食材を破棄した食材納入業者に対し補償を 行うとともに、発注予定であった食材費の一部を支援しました。

【食育の推進】(学務課)

- ・児童生徒及び保護者に対して食育指導を行いました。
- ・学校給食に「一汁二菜」の日を設け、食と文化の理解を深めました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しましたが、各学校において「学校給食展」を開催し、児童生徒の食に関する 意識を高め、給食への取組を発信しました
- ・県の委託事業「つながる食育推進事業」に協力し、レシピ動画等を市のホームーページに掲載するなど、食育の推進に努めました。 「ひろがれおいしいにおい」は、昨年度のものをベースにマイナーチェンジにとどめ、6,500部発行しました。

【学校保健の充実】(学務課)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童生徒の各種健康診断(定期健康診断等)は、実施時期が延期となったが、円滑に実 施し、学校保健の充実を図ることができました。
- ・日本スポーツ振興センターに係る児童生徒の負傷等療養費の支払いを、学校を通さず市の会計課から直接保護者への振込を推奨 し、学校の負担軽減を図りました。
- ・学校保健会理事会を開催し、学校保健における課題の解決に向けて検討しました。
- ・歯・口の健康に関するポスター・標語地区審査会及び歯科保健コンクール地区審査会を開催し、児童のポスターが埼玉県歯科医師 会会長賞を受賞することができました。
- ・指導課と連携し、校務支援システム「校支援」を活用し、事務作業を削減することができました。
- ・保健所や新型コロナウイルス対策課と連携し、児童生徒や保護者の感染状況や疫学調査結果の情報共有を行い、感染拡大防止に 努めました

事務事業費		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
		総額(円)	397,344,355	414,176,391	404,592,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	397,344,355	391,966,823	404,592,000
		特定財源	0	22,209,568	0
	学校体育推進事業		3,696,852	3,158,780	4,543,000
	中学校部活動推進事業		3,684,607	130,430	2,848,000
/ren	学校給食推進事業(小・中学	校)	304,699,365	302,706,603	306,860,000
個別	学校給食管理運営事業		2,247,461	16,856,349	1,028,000
事	就学時健康診断等事業		2,582,735	2,505,767	2,666,000
務	学校保健安全衛生·各種健康		80,320,058	88,707,144	86,497,000
事業	学校医等の公務災害補償事	務	0	0	22,000
名	放射線対策事業		113,277	111,318	128,000
				実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	(1) 児童生徒の体力・運動能 (2) 学校給食における市内産 (3) 市内小中学校におけるむ	農産物の使用量(累計)	(1) ① - ② -	(1) ①85% ②85%	
		1日1赤口			
成果指	児童生徒の割合	ウ・運動能力が総合評価A〜Eの	(2) 31.5t	(2) 120t (累計)	
標	①小学校 ②中学校 (2) 学校給食における市内産 (3) 市内小中学校におけるむ			(3) 69.0%	(3) 90%
			亚価•達成状況		

所属評価•達成状況

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できなかった種目があるため、総合評価が出せませんでした。
- (2) 今後も地場農産物を積極的に活用した給食の提供を推進します。
- (3) 引き続き、むし歯の治療について、学校へ働きかけるとともに、保護者への啓発を行います。

- ・運動の日常化は、コロナ禍にあって非常に大事になってきていると思います。子どもたちが楽しみながら体を動かせるように工夫をしていけば、気持ちの上でも発散できるのではないでしょうか。コロナ禍において、なわとびチャレンジができたのは良かったと思います。今後も楽しくやっていく視点を忘れずに取り組んでいくことが必要だと思います。そして、この視点はコロナ後も必要であると思います。
- ・生活習慣の改善では、日常のスマホやゲームの時間を把握する必要があると思います。
- ・部活動は公教育の一部なので 怪我をしないためにも専門的な知識を持っている部活動外部指導者が必要だと思いますが、指導が過度になってしまうと問題になってしまうのでそこのバランスをうまく取っていく必要があると思います。
- ・食材納入業者に対する補償について、食材の納入業者にしたら本当に助かったと思います。草加の給食に引き続き協力してもらえるのではないでしょうか。
- ・給食のレシピ動画をホームページに掲載されたことは、草加の給食の認知度を上げることにつながったと思うので評価できます。
- ・コロナ禍でフッ化物洗口がなかなか思うようにできなかったと思いますが、現状はできることを進め、落ち着いたらまた実施してほしいです。
- ・働き方改革として、校務支援システム等で教職員の負担が軽減されているということなので、是非今後も進めてほしいと思います。
- ・コロナ禍での保健対応は大変だっと思います。速やかに色々なものを学校に整備してもらいありがたいです。大きな混乱はなく、元の状態に戻れたのは大きな成果だと思います。

「草加っ子の基礎・基本」の定着】〔評価B〕

- ○体育、保健体育の授業で児童生徒の意欲を高め、授業改善を図ることができました。
- △新体力テストの分析・検証をいかした具体的な指導方法を周知する必要があります。
- △運動している児童生徒とそうでない児童生徒の体力及び運動能力の二極化の解消へ向け、学校の教育活動全体を通じ た体力向上を図る手立てを講じる必要があります。

【体力向上プランの改善】〔評価B〕

- ○新体力テストで自校の体力について分析し、そこで明らかになった課題解決のために各校で体力向上に取り組み、一人 ひとりの体力向上を図ることができました。
- ○新体力テストの結果で、小学校では、令和元年度の県平均と比較して、48項目中26項目が県平均を上回りました。
- △新体力テストの結果で、中学校では、令和元年度の県平均と比較して、24項目中10項目が県平均を上回るに留まりまし
- △健康・体力向上グランドデザインを基に、各校での体力向上を推進する必要があります。

【体育・保健体育の授業の改善】〔評価B〕

- ○体育、保健体育の授業を核に、学校生活の様々な場面において、児童生徒自らが身体の特性を知り、知識及び技能を身 に付けながら、体力の向上に努めました。また、小中学校体育連盟及び草加市体力向上推進委員会と連携して、授業研究 会を実施し、各校の取組を周知することができました。
- ○幼保小中を一貫した教育として、健康がんばりカードの取組や体育・保健体育の授業で感覚つくりの運動や補強運動等を 行い、健康への意識の高揚や体力の向上が図れました
- △各校の体力課題を教員全体で共通理解を図り、具体的な手立てを講じ、実践していくことが求められています。

【運動の日常化の推進】〔評価B〕

- ○各種大会を中止する中で、市内小中学校なわとび大会の代替として「なわとびチャレンジ2020」で前回し跳びや二重跳 びを各校で実施し、体力の向上を図るとともに、日常的に運動に親しむ意識の高揚を図ることができた。
- △新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青少年相撲大会や学校対抗相撲大会、市内陸上競技大会やなわとび大会、 学校総合体育大会を開催できませんでしたので、体力向上を図る取組の実施が課題です。

【生活習慣の改善】〔評価B〕

- ○家庭とも協力しながら各校において各教科等で朝食の摂取、テレビ等の視聴時間、睡眠時間の確保等に取り組むことで、 生活習慣の改善につなげました。
- △家庭との連携の在り方について、優れた実践を学校訪問等を通して、市内に広める必要があります。

【中学校部活動の推進】〔評価B〕

- ○部活動指導員6人と部活動外部指導者49人が、1,386回の指導を行いました。
- ○全国大会に陸上競技で3校が出場しました
- △「草加市中学校部活動の方針」や各中学校で作成した「部活動の方針」を基に、感染防止対策を徹底した上で部活動を 適切に実施する必要があります。
- △運動部活動を推進し、更なる体力の向上を図る必要があります。

【学校給食の推進】〔評価B〕

- ○アレルギー対応を丁寧に行い、大きな事故ゼロを達成することができました。
- △給食会計の透明化、教職員の負担軽減のため、給食会計の公会計の導入を引き続き検討する必要があります。 0

【食育の推進】〔評価A〕

- 西課 ○市や学校のホームページにレシピ動画を掲載し、食育の推進に努めました。
 - ○給食冊子を昨年度版を基に作成し、担当者の負担軽減を図ることができた
 - △栄養教諭による食育指導の実践事例などをまとめ、各校における食育指導を共有していく必要があります。

【学校保健の充実】〔評価A〕

- ○新型コロナウイルス感染拡大防止のための衛生用品(アルコール消毒液、プラスチックグローブ、非接触型温度計、ノー タッチ式ディスペンサー等)を各校に整備することができました。
- △学校保健会や学校医、学校歯科医、学校薬剤師と連携し、新型コロナウイルスの感染防止策や健康な歯への取組向上を 図る必要があります。
- △フッ化物洗口の実施校の拡大を今後も継続して行い、児童生徒のむし歯治療率の向上に努める必要があります。

20

【「草加っ子の基礎・基本」の定着】

- ▶ 指導訪問等で「指導の基」を用いた指導・助言を行い、「草加っ子の基礎・基本」の定着を図ります。
- ・「体」の基礎・基本については、指導訪問を通じて体育、保健体育の授業を中心に徹底を図り、児童生徒の体力及び運動能力の向上を目指します。

【体力向上プランの改善】

- ・草加市体力向上推進委員会を開催し、新体力テスト等で明らかになった体力及び運動能力の課題を周知し、体力向上プランの改善に向けて支援します。
- ・体力向上プランを改善し、体育、保健体育の授業を核として、業前・業間運動も含め全教育活動の中で体力及び運動能力を向上させる取組について学校訪問等を通じて指導・助言します。

【体育・保健体育の授業の改善】

- ・小中学校体育連盟、草加市体力向上推進委員会と連携しながら、研修や授業研究会を通じて教員の指導力を高め、体育・保健体育の授業改善を図ります。
- ・児童生徒の適切な運動量を授業の中で確保し、日常的に運動しない児童生徒にも運動を習慣化させる取組等について指導訪問等を通じて指導・助言します。
- ・幼保小中を一貫した教育を通じた児童生徒の体力・運動能力の向上を図るため、学校訪問等を通して、各校の良い取組事例を紹介しながら支援します。

【運動の日常化の推進】

- ・「草加っ子なわとび強化月間」の取組をいかして、運動の日常化を推進します。
- ・児童生徒の体力及び運動技能の向上、教師の指導技術の工夫改善を図り、日常的に運動に親しめるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した取組を実施します。

【生活習慣の改善】

- ・家庭とも協力しながら各校において教科と特別活動、総合的な学習の時間等を関連させながら、朝食の摂取、テレビ等の視聴時間、睡眠時間の確保等、生活習慣の改善を図る授業実践が行われるよう支援します。
- ・「体」の基礎・基本である「しっかり食事 ぐっすり睡眠」の生活習慣が身に付くよう、草加っ子の基礎基本の徹底を図るよう指導したり、各校の良い取組を学校訪問等を通して周知します。

【中学校部活動の推進】

- ・草加市中学校部活動の方針や各中学校の部活動の方針を周知・徹底するとともに、感染防止対策を徹底した上で部活動 の適切な実施を推進します。
- ・部活動に対する指導体制の充実を図るために、技術指導だけでなく、大会等の引率や生徒指導なども各校の教員と連携して行うことができる部活動指導員を引き続き6人配置します。
- ・中学校部活動では、競技・技能レベルの向上のため、専門的な指導力を有する地域の外部人材(部活動外部指導者)の協力を受け、部活動の充実を図ります。
- ・関東大会や全国大会への激励会の実施や横断幕の作成等を行い、広く周知し出場を支援します。

【学校給食の推進】

- 和 ・アレルギー対応をしっかりと行えるように、中学校区の3校を2人の学校栄養士が連携を図れるようにします。
 - ・調理業務に係るコストや衛生管理など運用の比較を引き続き行います。
- 年 ・給食会計の公会計に向け、具体的な運用方法やシステム導入等の検討を引き続き行います。
- 度・食器の軽量化に向けて検討を進めます。

以【食育の推進】

3

- **降** ・学校栄養士や食育応援農家と連携し、地場農産物を活用した給食を推進するとともに、作付け・収穫体験など食育活動の 充実に努めます。
- 取 ・栄養教諭配置校においては食育指導の充実を図るため、食育指導の実践事例等を周知していきます。
- ・市や学校のホームページにレシピ動画等を掲載し、食育の推進に努めます。
 - 「ひろがれおいしいにおい」の発行方法や内容を再検討し、保護者や地域の方への周知を図ります。

【学校保健の充実】

- ・むし歯治療の意識向上を啓発するため、「わたしの歯っぴーファイル」の活用を今後も促すとともに、フッ化物洗口の実施校の拡大に努めます。
- ・学校保健連絡会(学務課主催)を通じて、各校における保健指導の充実を図るよう、養護教諭に指導していきます。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」に準じて感染症対策に努めます。
- ・校務支援システム「校支援」を活用し、学校と市教委の双方の負担軽減、事務の削減が図れるように努めます。

令和2年度点検及び評価表 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 担当課名 基本構成 Ι 総合評価 「草加っ子」の育成 次基 火本 教計 目指す「草加つ子」(15歳の姿)を育む 1 基本目標 教育支援室 幼保小中を一貫した教育の推進 育 学務課 Α 画 振 総務企画課 1-5 多様なニーズに対応した教育と支援の充実 施

児童生徒の不登校などに対応するため、様々な教育相談活動を推進するとともに、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員などの派遣を通じ、学校や関係諸機関と連携を深めることで、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。さらに、学校適応指導教室の活動を充実させるとともに、学校との連携を深めることで、児童生徒の自立と学校生活への適応を支援できるような環境づくりを推進します。

特別な配慮を要する児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応し、一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、適切な情報提供を行い、丁寧な相談活動を推進するとともに、十分な環境整備や支援体制を構築していきます。更には、医療・福祉などの関係機関との連携や、特別支援学校が担うセンター的機能を活用し、埼玉県立草加かがやき特別支援学校等との連携に取り組み、個に応じた特別な教育支援の充実を図ります。

また、ノーマライゼーションの理念に基づき、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援学級、通級指導教室の担当教員の育成及び通常学級に在籍する発達に課題があると思われる児童生徒への支援に向け、通常学級を含めた全教員の指導力の向上に取り組むとともに、埼玉県立草加かがやき特別支援学校や埼玉県立越谷特別支援学校等との支援籍学習を推進します。

世学歴史制度については、国の場所が他志知の動向を確認したがに、所得制度を基準にした翌宝を行い、透明性を確保したがに国党を

就学援助制度については、国や県及び他市町の動向を確認しながら、所得制限を基準にした認定を行い、透明性を確保しながら運営を 進めます。また、入学前準備金を含め就学援助制度について、就学時健康診断や入学説明会等の様々な機会で同制度の周知を図りま す。中学校の部活動費等については、他市町の動向や支給方法等について検討を進めていきます。

入学準備金、奨学資金貸付制度については、他自治体の動向などを踏まえ、より利用しやすい貸付制度の検討を進めます。また、入学準備金及び奨学資金の滞納対策が急務であることから、滞納解消に向けた法的措置等の具体的な取組を実施します。

【教育相談の充実】(教育支援室)

- ・教育支援室の相談体制を充実させ、年間6,000件を越える教育相談を通して、きめ細かな児童生徒支援を行いました。
- ・学校支援指導員3人による電話・来室相談、ふれあい教室支援、学校訪問等を行いました。
- ・いじめや不登校等についての相談対応として臨床心理士・臨床心理専門員2人、巡回相談対応として臨床心理士1人を配置し、児童生徒・保護者への支援を行いました。
- ・スクールソーシャルワーカー11人を全中学校区に派遣し、不登校や児童虐待など、学校だけでは解決が難しい問題に関して、関係 諸機関と連携して対応しました。
- ・スクールカウンセラー13人を全小中学校へ、さわやか相談員11人を全中学校へ配置しました。
- ・ふれあい教室を活用した29人の児童生徒の自立と学校生活への適応のため、学校と連携した支援を行いました。

【特別支援教育の充実】(教育支援室)

動

内

容

実

- ・特別支援学級の整備を全小中学校に行いました(知的障害特別支援学級37学級、自閉症・情緒障害特別支援学級34学級)。
- ・特別支援教育指導員による特別支援学級への訪問指導を行いました(学校訪問 延べ130回)。
- ・あおば学園、子育て支援センター、市内幼稚園・保育園等と連携し、就学予定児についての情報共有・行動観察を基に、丁寧な就学相談に努めました(就学予定児の就学相談 延べ513人)。
- ・巡回相談対応として臨床心理士2人を派遣し、児童への支援について学校と連携を図りました。
- ・指導主事・臨床心理士等による発達相談及び就学相談を行いました(延べ2,543件)。

【特別支援教育の就学奨励費の補助】(教育支援室)

・特別支援教育就学奨励費を3期に分けて支給しました。

支給者数 168人(小学校 118人・中学校 50人)

支給額 5,600千円(小学校 3,443千円・中学校 2,157千円)

【埼玉県立かがやき特別支援学校等との連携】(教育支援室)

- ・特別支援学校の学校公開日等の日程について保護者及び関係各校へ周知しました。
- ・支援籍学習実施のため、各学校への情報提供、調整を図り推進に努めました。
- ・特別支援学校のセンター的機能を活用し、市内小中学校との連携を図りました。巡回・教育相談を行い、支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、支援方法の理解を深めました。

【一人ひとりに応じた就学援助の充実】(学務課)

- ・小学校で要保護107人、準要保護1,551人(区域外4人含む)、延べ1,658人の児童へ就学援助の認定や就学援助費の支給を 適正に行いました。
- ・中学校で要保護66人、準要保護929人(区域外6人含む)、延べ995人の生徒へ就学援助の認定や就学援助費の支給を適正に行いました。
- ・在校生につきましては2月、新入学児童生徒につきましては、入学説明会時に就学援助のお知らせや申請書を全員に配布し、就学援助制度の周知を図りました。
- ・新小学校1年生及び新中学校1年生に入学準備金の事前支給を行い、保護者の経済的負担の軽減を図りました。

【入学準備金及び奨学資金貸付制度の見直し】(総務企画課)

・給付制の奨学金制度や、他自治体の制度について調査・研究を行い、草加市の制度との比較を行いました。

【貸付金の滞納解消に向けた取組】(総務企画課)

- ・滞納対策として、電話催告・返済相談等を実施しました。
- ・引き続き口座振替による返済を推奨し、3月末時点で90人が利用しています。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	343,267,899	351,859,074	391,994,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	318,048,825	323,233,719	361,997,000
		特定財源	25,219,074	28,625,355	29,997,000
	教育相談充実事業		35,164,751	48,565,203	49,805,000
	特別支援教育充実事業		78,347,578	88,603,242	92,581,000
100	特別支援教育就学奨励費補助事業(小·中学校)		5,525,851	5,599,305	7,362,000
個別	学校就学援助事業(小・中学	校)	213,787,589	194,676,755	224,798,000
事	入学準備金·奨学資金貸付事業		10,291,466	14,223,649	17,146,000
務事業	外国人学校児童生徒保護者補助事業		150,664	190,920	302,000
	成果目標			実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	(1) 生徒指導・教育相談の充実を図り、関係機関と連携した個に応じた支援のもと、不登校児童生徒の減少を目指します。(2) 経済的理由により高等学校などへの修学が困難な方へ、教育の機会均等や有能な人材の育成を図っていくため、貸付人数の維持又は拡大を図っていきます。(3) 入学準備金・奨学資金返済率(現年度)を向上させることで、将来の貸付金の原資を確保し、支援の必要な方に確実に入学準備金などを貸付することを目指します。			①0.72% ②4.50%	(1) ①0.35% ②2.73%
	指標名			(2) 38人	(2) 45人
成果指標	(1) 不登校児童生徒(年間30 ①小学校 ②中学校(2) 入学準備金・奨学資金貸 (新規・継続)(3) 入学準備金・奨学資金返 (現年度)	付人数		(3) 92.5%	(3) 95%
	(元十尺)	= :	速压 法武士		

所属評価•達成状況

- (1) 全中学校区に派遣したスクールソーシャルワーカーにより、不登校児童生徒に対してこれまで以上にきめ細かに対応することができました。今後は、個に応じた対応を更に進め、一人でも多くの不登校の解消を図る必要があります。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、家計が急変した方に対する支援として、在学の方を対象とした奨学資金 貸付申請の緊急募集を実施し、2人に対して貸付を行うことができました。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、滞納者への自宅訪問など、積極的な滞納対策を実施できませんでしたが、 今後についても返済者の経済的事情なども考慮に入れ、分割納付等の活用も含め、滞納対策を行っていきます。

- ・コロナにより、不登校や問題行動等に影響が出てきているのではないかと思います。今後も、地域の関係機関とも連携して対応していってほしいと思います。
- ・様々な子どもたちに対応していただき感謝しています。スクールソーシャルワーカーなどの人員は増えていると思いますが、支援の必要な子どもが増えてきているので、今後も充実させてほしいです。
- ・自傷行為は発見が難しいと思いますが、見逃さないようにしてほしいと思います。
- ・特別支援教育においても、子どもの育ちのためには幼保小中の連携が大事だと思います。 草加は全ての学校に特別支援学級があるので、自分の学区に入れることは草加市の特色の一つであり、素晴らしいと思います。
- ・貸付制度は進学したい人を救える制度なので今後も継続してほしいです。
- ・滞納は当然良いことではありませんが、子どもの就学に影響が出ないよう、うまく対応してほしいです。

【教育相談の充実】〔評価B〕

- ○臨床心理士等による継続した相談を行い、悩みを抱える児童生徒や保護者に寄り添った支援の充実が図られました。
- ○全中学校区に派遣したスクールソーシャルワーカーによる家庭訪問やケース会議、関係諸機関との連携を通して、不登校・児童虐待等へのきめ細かな対応の充実が図られました。
- ○ふれあい教室を活用している児童生徒の自立に向けた学習支援、交流活動を充実させ、学校復帰や進学への意欲化を 図ることができました。
- △不登校の解消、児童虐待、自傷行為等への早期対応、継続した支援のため、学校と関係諸機関とのより一層の協力体制の構築が必要です。

【特別支援教育の充実】[評価A]

- ○引き続き特別支援学級を全校に設置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を充実させました。
- ○就学予定児、在学児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学支援について、保育園、幼稚園、子育て支援センター、学校等と情報を共有するとともに、保護者への十分な情報提供を行い、適切な教育形態への合意形成に努めました。 △市独自の研修を更に工夫し、小中学校の全ての教員に対して、特別支援教育の必要性と正しい理解を浸透させ、個に応 じた支援ができるよう指導力の向上を図る必要があります。

【特別支援教育の就学奨励費の補助】〔評価A〕

- ○教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援教育就学奨励費補助事業を適切に進めることができました。
- △学校事務担当者向け奨励費事務Q&A集の内容を充実させるなど、適正な事務執行がなされるよう引き続き周知を図りませ

【埼玉県立かがやき特別支援学校等との連携】〔評価A〕

- ○特別支援学校のセンター的機能を効果的に活用し、コーディネーターの専門性をいかし、児童生徒の実態を適切に把握するとともに、特別な支援を必要とする児童生徒の保護者や教職員に対しての相談を実施することで、具体的な支援方法の理解を得ることができました。
- △支援籍学習や近隣小中学校との交流をより一層推進し、特別支援教育に対する理解を深めることが必要です。

【一人ひとりに応じた就学援助の充実】〔評価A〕

- ○市教委と学校が緊密に連携し、申請書等を家庭に配布し、保護者へ就学援助制度の周知を図り、援助を必要としている 世帯に迅速かつ円滑に援助を行うことができました。
- ○案内の配布、広報そうかへの掲載やホームページの更新を行い、就学援助制度について周知を図ることができました。
- ○新小学校1年生は入学準備金の案内を就学時健康診断受診時に配布したり、ホームページに掲載したりする等の周知が図れました。
- △システムが導入されていないため、就学援助事務が手作業である。入力ミスの防止、多様な支給方法への対応をすることができない。

【入学準備金及び奨学資金貸付制度の見直し】〔評価B〕

- ○給付制の奨学金制度や、他自治体の制度について調査・研究を進め、草加市の制度との比較を行いました。
- △引き続き、他自治体の動向などを注視しつつ、利用者のニーズにあった貸付制度を検討していきます。

【貸付金の滞納解消に向けた取組】〔評価B〕

- ○滞納については、引き続き、返済者の生活状況に配慮しつつ、長期滞納者を中心に積極的に返済勧奨をして、大部分の 滞納者から定期的に返済を受けています。
- △新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響で、今後、滞納者や滞納金額が増加する可能性がありますが、返済者の生活 状況を踏まえながら、返済猶予の制度も活用しつつ、丁寧な滞納相談を行っていく必要があります。

評価と課

【教育相談の充実】

- ・学校支援指導員による電話、面談による相談活動やふれあい教室における支援・指導を強化するとともに、学校への訪問支援を通じて相談活動の充実を図ります。
- ・全中学校区に派遣しているスクールソーシャルワーカー11人が、不登校や児童虐待等の解決のためにより効果的に活動できるよう、支援内容・支援方法を工夫・改善し、体制づくりを更に進めます。
- ・学校に配置されているさわやか相談員やスクールカウンセラー等を有効活用し、学校と情報を共有し共通理解を図り、同一 歩調で支援できる体制づくりを更に進めます。
- ・ふれあい教室の活用児童生徒と在籍校の教職員とが継続して面談する機会を設定するとともに、在籍する学校を訪問し、 関係する教職員との連携を強化します。

【特別支援教育の充実】

- ・「市特別支援教育に関する推進計画」を令和3年度に策定し、全ての教職員の特別支援教育への適切な理解及び、効果的な実践を推進していきます。
- ・保護者に寄り添った丁寧な相談を進めながら合意形成を図るとともに、適切な障がい種別の特別支援学級の設置に努めます
- ・特別支援教室児童担当指導員を増員し、通常学級に在籍し、大きな集団での学習、生活に不適応を起こしている児童に対しての支援を推進します。

【特別支援教育の就学奨励費の補助】

特別支援教育就学奨励費補助事業を適切に進めます。

【埼玉県立かがやき特別支援学校等との連携】

- ・特別支援学校とその教育内容に対する理解を深め、連携強化を図ります。また、市内の特別支援教育担当教員の指導力向上を目指し、実践指導に触れる機会設定に努めます。
- ・草加かがやき特別支援学校、越谷特別支援学校、特別支援学校大宮ろう学園等との交流や支援籍学習での連携等を進め、市内小中学校及び保護者への理解を深めるとともに包括的な支援が図れるよう努めます。

【一人ひとりに応じた就学援助の充実】

- ・学校からの手紙、広報そうか及び教育委員会ホームページなどによる制度の周知を更に充実させるとともに、市外から転入 した家庭への周知も十分に行います。
- ・年度途中での収入減少によって追加認定の可能性があることを周知し、援助が必要な世帯への対応を充実させます。
- 手続き上のミスの減少、保護者の申請時の負担軽減を図るため、電子申請システムの導入を検討します。

【入学準備金及び奨学資金貸付制度の見直し】

・県・国等の制度について把握しつつ、引き続き、他自治体の動向を調査・研究し、草加市の貸付制度の充実に向け、制度の見直しを検討していきます。

【貸付金の滞納解消に向けた取組】

・新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響で、今後、滞納者や滞納金額が増加する可能性がありますが、返済者の生活状況を踏まえながら、返済猶予の制度も活用しつつ、丁寧な滞納相談を行っていきます。

活動内容実

令和2年度点検及び評価表 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 基本構成 Ι 担当課名 総合評価 「草加っ子」の育成 次基 教本 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む 基本日標 1 指導課 計 幼保小中を一貫した教育の推進 育 教育支援室 В 画 振 学務課 1-6「草加っ子」の学びを支える指導力の向上 興

市委嘱研究を計画的に進めるとともに、指導訪問や要請訪問等において適切な指導・支援を行い、教員の指導力の向上を図ります。また、教員研修においても、指導技術を高める内容に重点を置き、指導力のある教員を育成します。

さらに、特別な教育的支援を必要とする児童生徒も含め、全ての児童生徒が授業に取り組みやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の改善を進めます。

児童生徒を取り巻く環境の変化に伴い、学校だけでは解決が難しくなってきている不登校対応等についての研修を充実させていきます。 また、特別支援学級や通級指導教室の担当者に対する研修を充実させるとともに、通常学級に在籍している障がいがあると思われる児童生徒を適切に支援するための研修を充実させていきます。

教職員の業務の合理化・効率化を図り、一人ひとりの子どもと向き合う時間を確保できる環境づくりを進めます。

【「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底】(指導課)

・市内32校の指導訪問で各教科等の公開授業・研究授業を実施し、基礎基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について 具体的に指導しました。全体会等で「指導の基」を活用して、「草加っ子の基礎・基本」及び「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の 徹底について教員に指導し、授業改善を図りました。

【指導訪問の充実】(指導課)

・市内32校の指導訪問で各教科等の公開授業・研究授業を実施し、基礎基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について 具体的に指導しました。

【教職員研修の充実】(指導課)

- ・初任者研修、3年次教員研修、5年経験者研修、キャリア・アップ研修、臨時的任用教員・任期付任用教員研修を実施し、教員の専門性を高め主した。
- ・「草加教師塾」を開催し、教員が主体的に取り組む研修を促しました。特に、第1回の研修会では、長期研修生の報告やれんたつ教員の学級経営についての講義を実施しました。
- ・指導主事や学力向上担当指導員の訪問指導により、教員の課題に応じた個別の指導を実施しました。
- ・学力向上に向けた「学力向上対策研修会」を3回実施しました。1回目は県教委の指導主事による埼玉県学力・学習状況調査の結果分析の仕方と活用法、2回目は今年度実施した埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用法(全体及び各教科ごとに実施)、3回目は学力向上に係る実践発表及び講演会をWeb会議システムで行い、学力向上に向けた取組を支援しました。

【市委嘱研究の充実】(指導課)

- ・「生きるカプラン」「元気・夢プラン」「読書活動推進プラン」の各校の研究の助成を行いました。
- ・学力向上推進校に対して、年間5回訪問し、学力向上に向けての指導助言を行いました。

【ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・環境づくりの充実】(指導課)

・埼玉県立草加かがやき特別支援学校の教諭を講師に招き、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境づくり に向けた研修会を、全小中学校の担当教諭を対象に開催しました。

【教育相談及び特別支援教育に係る研修の充実】(教育支援室)

- ・さわやか相談員連絡会議を実施し、今後の教育相談にいかすため、各校の成果や課題を情報共有しました(10月1日)。
- ・インクルーシブ教育に向けた特別支援教育に係る研修を工夫して実施し、担当者の育成、指導力の向上を図りました。 特別支援教育推進教員育成研修会(各校1人)、特別支援学級新担任者実務研修会(9人)

【教職員の働き方改革】(学務課)

- ・埼玉県の方針を踏まえて、「草加市立小中学校における働き方改革基本方針」の見直しを行い、教職員の意識の変革を図りました。 ・負担軽減検討委員会を年3回開催し、様々な負担軽減策を協議し、各学校に「負担軽減検討だより」を配布し、情報提供を行いました。教職員向けの業務改善研修会は、コロナの影響により開催を中止しました。
- ・スクール・サポート・スタッフを、当初予算分4校(小3校、中1校)に加え、県からの補助に基づき、小学校13校、中学校1校に追加配置を行いました。
- ・勤務時間外の在校時間が長時間となる教職員は、校長との面談による業務改善を図り、自己チェックシートを活用して、産業医との面談を実施しました。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	13,764,284	14,511,285	15,059,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	13,764,284	13,733,566	15,059,000
		特定財源	0	777,719	0
/II	教職員研修推進事業		7,494,284	8,311,285	8,549,000
^個 事	草加っ子「生き生きプラン」推進事業		6,270,000	6,200,000	6,510,000
個別事務事業名					
務 "					
	成果目標			実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
成果指標	推進し、教職員の負担軽減を図ります。 (3) 特別支援教育に対する正しい理解と指導力、専門性の向上を図り、特別支援教育の推進を目指します。 指標名 (1) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査における「国語の授業の内容はよく分かりますか」「算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合の平均 ①小学校 国語 算数 ②中学校 国語 数学 (2) 在校等時間の超過勤務が「一月について45時間、一年について360時間」を超えた教職員の割合 ①小学校 一月45時間超			(1) ①小学校 国語 - 算数 - ②中学校 国語 - 数学 - (2) ①39.2% ②40.7% ③63.4% ④73.9%	(1) ①小学校 国語85% 算数85% ②中学校 国語75% 数学70% (2) ① 0% ② 0% ③ 0% ④ 0%
	②中学校 一月45時間超 ③小学校 一年360時間超 ④中学校 一年360時間超 (3) インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修会を受講し、特別支援 教育の重要性について理解し、指導にいかしている教職員の割合 ①小学校 ②中学校			(3) ①56.1% ②40.5%	(3) ①100% ②100%

所属評価•達成状況

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、調査が実施されませんでした。
- (2) 引き続き、働き方改革を推進し、負担軽減ができるよう指導・啓発を行います。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、動画視聴や自校における実務研修など、内容や方法を工夫し、研修を実施しました。今後も更に研修内容や方法を工夫していきます。

- ・教師は授業力、指導力が大切であり、授業改善はとても大切なことです。コロナ禍においても年次研修ができたことは良かったと思います。
- ・ベテラン教師の技術や経験は記録しないと伝えられなくなるので、映像化や資料化をしておく必要があると思います。併せて、Q&Aも作成すると、なお良いと思います。
- ・講演会をWeb会議システムで行ったとありますが、今後も教員の負担軽減や出張時間の削減による授業時間の確保のため、コロナに関係なくWeb会議システムなどのICTのツールを活用してほしいです。
- ・ユニバーサルデザインは、大事な視点だと思うのでこれからも続けてほしいです。
- ・過重労働は大きな問題だと思います。ここがうまくいかないと授業に影響するので今後も改善に向けた取組をお願いします。校長が変わるとその学校の雰囲気も変わると思いますので、毎年度ごとに過重労働になっていないかを見ていくことも大事だと思います。
- ・在校時間が長時間になっていることは今に始まったことではないので、市内外の効果的な取組を研究してほしいと思います。
- ・スクール・サポート・スタッフを継続して配置してほしいと思います。

【「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底】〔評価B〕

○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を徹底し、各校の日々の授業を改善していくことにより、児童生徒の学力の定着を図りました。 △多くの授業で、第1条「学習の目標を明らかにする」第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」の徹底を図る必要があります。

△「草加っ子の学びを支える授業の5か条」については、様々な場面を活用して、指導していく必要があります。

【指導訪問の充実】[評価B]

○全体会、分科会等を通じて「草加っ子の基礎・基本」や「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底を図りました。

△教科領域別の授業づくりのポイントや「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善の在り方などを具体的に指導し、教員の指導力の向上を図る必要があります。

△「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のポイント等を具体的に指導し、各校の学力向上を図る必要があります。

【教職員研修の充実】〔評価B〕

○指導訪問を始め様々な研修で個別指導を実施し、教員研修の充実を図りました。

○第3回「学力向上対策研修会」では、学力向上に係る実践発表及び講演会を実施し、研究成果の普及と学校の教育力の向上、教員の 指導力の向上を図りました。

△新採用教員が増加する中、中堅教員の育成とベテラン教員の指導技術の伝承が課題となります。

△学力向上に向け、研修の在り方について検討する必要があります。

△引き続き、教員の専門性を高め、授業改善・授業力の向上を図る必要があります。

【市委嘱研究の充実】〔評価B〕

価

成 ○小学校3校(氷川小、栄小、西町小)中学校2校(草加中、川柳中)と「読書活動推進プラン」6校(新里小、両新田小、両新田中、花栗南小、小山小、花栗中)が研究発表を行い、その成果を市内各校へ広めました。

果 ○学力向上推進校訪問を年5回行い、学力向上に係る現状把握及び今後の学力向上の取組について検討し、具体的な助言及び支援を ○ 行いました。

| ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・環境づくりの充実】[評価B] | コニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境づくりに向い

課 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境づくりに向けた研修会を開催し、その成果を各校に広めることができま 題した。

【教育相談及び特別支援教育に係る研修の充実】〔評価B〕

○新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、研修内容を工夫し、特別支援教育に係る人材の育成、特別支援教育についての正しい理解に 努めました。

△不登校、児童虐待等についての研修の充実のため、研修方法を工夫していく必要があります。

△市独自の研修を更に工夫し、小中学校の全ての教員に対して、特別支援教育の必要性と正しい理解を浸透させ、個に応じた支援ができるよう指導力の向上を図る必要があります。

【教職員の働き方改革】〔評価B〕

○スクール・サポート・スタッフを小学校16校、中学校2校に配置したことにより、教職員の消毒作業負担の減少等、大きな負担軽減につながりました。

○令和2年度は産業医と教職員本人との面談を11件行い、校長と面談した内容を提出させることで、本人と校長の働き方を見直す意識が 高まりました。心身の健康の保持、過労による事故の防止や学校への指導などを行うことができました。

○超過勤務時間が45時間を超える教職員の割合は小学校37.3%、中学校39.9%、80時間を超える教職員の割合は小学校3.5%、中学校7.8%でした。

△働き方改革への意識は高まっていますが、精神的な負担が出ている面が見られます。今年度はコロナ対応のために消毒作業やパーテーションの作成配置、体調観察等のこれまで想定していない業務が入ったために、超過勤務時間はまだ高水準となっています。 △相談対応が十分ではありませんでした。

【「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底】

・指導訪問等で「指導の基」を用いた指導・助言を行い、「草加っ子の基礎・基本」の定着を図ります。

・第1条「学習の目標を明らかにする」第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」の徹底を図ります。

【指導訪問の充実】

・指導訪問等を通じて、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の指導の徹底を図ります。

・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善のポイントを学習過程における児童生徒の「伸び」を視点とし、徹底した指導を継続することで、教員の指導力向上及び各校の学力向上を図ります。

【教職員研修の充実】

・市独自の新採用教員研修、3年次教員研修、臨時的任用教員・任期付任用教員研修を実施し、教員の専門性を高めます。

・市独自の5年経験者研修、キャリア・アップ研修を、体験や演習等を取り入れるなどの工夫をした上で実施し、教員の専門性を更に高めます。

・各種推進委員会等を開催し、教科等の専門性や指導技術をより高め、授業改善にいかします。

・学力向上対策研修会や指導主事及び教育指導員訪問を実施し、児童生徒の学力向上に向け、教員の指導力向上を図ります。

【市委嘱研究の充実】

和

以

赂

の

・「生きるカプラン」を3中学校区8校と「読書活動推進プラン」を6校に委嘱するとともに、令和2年度委嘱校2中学校区6校による「主体的・ 対話的で深い学びを実現するための授業づくり」「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」の研究発表会を支援し、市内の全小中学校 に取組を周知します。

3 ・学力向上推進校に対して、授業改善の視点について教育指導員による学校訪問を充実させ、児童生徒の学力向上の取組を支援します。

度【ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・環境づくりの充実】

・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり・環境づくり研修会を実施します。

・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境づくりの充実を更に推進し、児童生徒の実態を踏まえ、学習内容や授業の流れ等を明確にして「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各校の授業改善を支援します。

【教育相談及び特別支援教育に係る研修の充実】

取 ・特別支援教育担当者を発掘しその育成に向け、市独自の研修を一層充実させるよう努めます。また、特別支援教育の重要性についての理解を深め、指導にいかすことができる教員を育成するため、校長会や学校訪問等の機会を十分に活用することで、市内小中学校と連携を強化します。

・特別支援教育指導員、臨床心理士等を派遣し、訪問指導や校内研修等を通して、校内研修体制の支援を図ります。

【教職員の働き方改革】

教職員の働き方を見直し、「草加市小中学校における働き方改革基本方針」を推進し、学校への指導を行います。

・各校で作成した働き方改革基本方針に基づいた教職員の意識改革を図る校内研修会を支援し、業務改善を推進するための研修会を開催します。

・ICカードによる勤務時間の実態を把握し、教職員の業務量の適切な管理を行い、在校等時間の超過勤務の上限が「原則①月45時間以内、②年360時間以内」になるように取り組みます。

・市内小学校3校、中学校1校へのスクール・サポート・スタッフの配置を行い、負担軽減の取組を市内に広めます。

・勤務時間外の在校時間が長時間となる教職員の産業医との面談を実施します。

・休暇制度の周知及び休暇の取得促進等により教職員の意識改革を図ります。

・草加市独自の負担軽減検討策を集め、負担軽減検討委員会で協議を行い、各校に情報提供を行い、負担軽減を図ります。

動内容実

活

令和2年度点検及び評価表 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 基本構成 担当課名 総合評価 Τ 「草加っ子」の育成 次基 次 教計 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 基本目標 2 学務課 育 指導課 В 画 子ども教育連携推進室 2-1 地域とともにある学校づくりの推進 施 餇

よりよい学校運営や、子どもたちの学びや体験活動の充実等のために必要な支援に関する協議を学校運営協議会で行い、地域とともにある学校づくりを推進します。また、学校運営協議会と学校を支援する組織である学校応援団が両輪となり、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

学校応援団の活動を通じ、学校が積極的に家庭や地域に働きかけ、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

学校を含めた地域社会の中で、土曜日や放課後などにおける子どもたちの学習活動や体験活動の充実を図るなど、地域との交流・連携をいかした取組を進めるとともに、交流・連携しやすい環境づくりを推進し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動に取り組みます。

豊かな地域資源を活用し、草加の歴史や文化に触れることができる体験学習等を計画的・系統的に進め、草加に愛着や誇りを持てるよう、 ふるさと草加学習の充実を図ります。

【学校運営協議会の充実】(学務課)

・市内全小中学校がコミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりに取り組みました。学校運営協議会において、委員の方々に、学校運営や学校が必要としている支援について協議していただきました。・学校運営協議会の開催回数を減らしたり、開催方法を工夫したりするなど、必要最小限としました。

【学校応援団の充実】(指導課)

- ・全小中学校において学校応援団が組織され、学校応援コーディネーターを中心に、各校の実態に応じた放課後の学習への支援や 児童生徒の登下校の安全の見守りなど、教育活動への支援が行われました。
- ・学校応援団の名簿を作成し、草加市市民活動災害補償制度が活用できるように関係課と連携しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校応援団連絡協議会を中止しました。

【児童生徒の安全管理の充実】(指導課)

・スクールガード・リーダーを全小学校に配置し、学校応援団、各校の保護者と連携して、児童の登下校における見守り活動を実施し、 児童の安全を確保するとともに、危険箇所の合同点検を行いました。

【部活動指導員・部活動外部指導者の派遣】(指導課)

・中学校部活動に、部活動指導員6人と部活動外部指導者49人を派遣し、生徒の活動を支援しました。

【学校・家庭・地域が一体となった防災教育の推進】(指導課)

- ・安全主任を対象として、Web会議システムを活用し、防災教育の研修会を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、避難所運営市民防災訓練は中止となりましたが、関係課と連携して代替の授業を実施しました。

【ふるさと草加学習の推進】(子ども教育連携推進室)

・学習指導要領の全面実施に合わせて、草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを改定し、ふるさと草加学習を位置付けました。 ・指導訪問等の機会を利用して各学校と情報交換を行い、現在行われているふるさと草加学習の概要を把握するとともに、「学ぼう! ふるさと草加」及び「草加大好き!パリポリドリル」の活用を促しました。

【土曜日等の教育活動の充実】(指導課)

- ・土曜日等の教育活動検討委員会を年間2回実施し、サタデースクール等についての学校・保護者・地域(学校開放団体)の意見を 基に、望ましい土曜日等の教育活動について検討しました。
- ・令和3年度のサタデースクールについての保護者地域向け通知を作成して、全小中学校及び関係各課を通して配布し、周知しました。
- ・土曜日等の教育活動が充実するよう、学校教育外の土曜日等の教育活動についてのパンフレットを改訂し、学校を通じて配布しました

【学校経営の充実】(学務課)

- ・校長会議(12回)、教頭会議(5回)を実施し校長及び教頭に指導及び指示伝達を行いました。また、臨時校長会議(9回)実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について学校を支援しました。教育長訪問(32校×2回)、南部教育事務所人事学事担当学校訪問(32校)を実施し、各校の実態を把握し、課題に対する指導を行いました。
- ・校長会議をオンラインで開催(定例会12回中3回、臨時会10回中3回)し、感染拡大防止と負担軽減を図りました。

【学校評価制度の活用】(学務課)

- ・各校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価し、その結果をホームページ、学校だより等で公表しました。
- ・評価を行うに当たっては、学校は、その実情に応じて、適切な項目を設定して行いました。

【小中学校通学区域審議会の開催】(学務課)

- ・小中学校通学区域審議会委員を委嘱し、小中学校通学区域審議会を2回実施しました。
- ・学校選択の在り方について、必要な資料の作成及び収集を行い、審議内容が深められるようにしました。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	18,871,761	21,409,311	25,223,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	15,554,761	13,068,899	20,621,000
		特定財源	3,317,000	8,340,412	4,602,000
	学校管理運営事業(小・中学校)		2,480,624	3,457,432	4,591,000
個	学校運営·就学事務事業		9,596,103	12,314,576	11,254,000
別	学校応援団推進事業		6,795,034	5,637,303	9,378,000
事 発					
事					
別事務事業名					
名					
				実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	(1) より良い学校づくりに向けた改善意見や要望などを基に改善を進め、より高い 評価を受けることを目指します。			大根但(7和2千皮)	口标但(7和3千度/
	(2) 学校応援団の各校における活動の充実及び発展を目指します。			(1) 43.3%	(1) 55%
	指標名			(1) 45.5 70	(1) 55 %
成果指標	(1) 学校評価におけるA評価の割合			(2) 6,185人	(2) 6,500人
指標	(2) 学校応援団の人数				

所属評価・達成状況

- (1) 引き続き、改善を進め、より高い評価を受けるよう指導を行います。
- (2) 令和元年度までは6,500人を超えていましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響もあり、登録人数が 減少してしまったため、6,500人には達しませんでした。

- ・学校応援団は担い手も課題であると思います。学校や地域の実情によっても内容が異なり、個人にお願いすると限界もあると思うので、例えば図書館ボランティアで言えば、朗読の会にお願いしてみるなど、地域の活動団体にお願いするのはどうでしょうか。団体であれば、 フォロー体制も組みやすいのではないかと思います。
- ・学校応援団に対する謝金について、学校によってお願いする内容も異なるので、公平性の担保がカギとなります。謝金の代わりに、例 えば行事などに招待し、子どもから感謝を伝えるカードなどを渡すなどしてはどうでしょうか。 ・スクールガード・リーダーは、まずは保護者が率先してやっていくべきではないでしょうか。
- ・通学区域審議会とは異なりますが、八街市の交通事故の件もあり、通学路で何かあってからでは遅いので、実態調査や保護者からのヒ アリング等、必要な取組をしてほしいと思います。

(学校運営協議会の充実)〔評価B〕

- ○学校運営協議会で学習状況調査等の結果や不登校児童生徒の状況等について情報提供を行い、ご意見や協力できる ことはないか協議することができました
- △学校運営協議会委員の方々及び学校関係者が共通認識を持てるよう研修会を開催する必要があります。

【学校応援団の充実】〔評価B〕

○全小中学校において学校応援団が組織され、学校応援コーディネーターを中心に、各校の実態に応じた教育活動への 支援を行うことで、地域の教育力を児童生徒の生きる力の育成にいかすことができました。

△学校や地域により、学校応援団の活動に差があります。

【児童生徒の安全管理の充実】〔評価B〕

- ○スクールガード・リーダーを全小学校に配置し、学校応援団、保護者と連携して、通学路における見守り活動を実施し、登 下校の安全を確保できました
- △活動日数が学校により異なることから、地域によっては下校時の見守りの更なる充実が求められます。

【部活動指導員·部活動外部指導者の派遣】〔評価B〕

- ○部活動指導員6人と部活動外部指導者49人が、延べ1,386回の指導を行い、部活動を活性化することができました。
- △部活動指導員や外部指導者と部活動顧問の指導の連携が今まで以上に求められます。
- △国や県の動向を見据えて、外部指導者の在り方や休日の地域への移行について検討する必要があります。

【学校・家庭・地域が一体となった防災教育の推進】〔評価B〕

- ○防災教育の研修会では、県立大学の教授の講義や市内の情報共有を行い、防災教育の推進を図りました
- ○避難所運営市民防災訓練の代替として関係課と連携しながら、授業を実施することで児童生徒の震災時の対応について 意識を高めることができました
- △地域防災の視点から危機管理課と連携を図りながら、発達段階に応じた防災教育の推進が求められています。
- △ハザードマップが改訂されたため、その活用について、各校に指導・助言する必要があります。

【ふるさと草加学習の推進】〔評価B〕

- ○改定版「学ぼう!ふるさと草加」や「草加大好き!パリポリドリル」の配布と、研修会等での周知及び活用促進により、各校 におけるふるさと草加学習を支援することができました
- ○草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム研修会の中でふるさと草加学習に関する事項を扱い、各校の教育課程担当者 に対して指導資料の理解促進と活用を促すことができました。
- △小学校高学年以降において、児童生徒が地域への関心を持つことができるようにするため、各学年におけるふるさと草加 学習を一層充実させる必要があります

【土曜日等の教育活動の充実】〔評価B〕

- ○土曜日等の教育活動検討委員会では、これまでの活動の成果や課題を挙げながら、今後の取組や児童生徒の教育に係 る外部団体について情報をまとめることができました。
- △土曜日等の教育活動検討委員会において、児童生徒の教育に係る外部団体についてまとめた情報を学校を通じて児童 生徒、保護者、地域に周知するとともに、地域人材の活用を図る必要があります。

【学校経営の充実】〔評価A〕

- ○校長会議、教頭会議及び教育長訪問、南部教育事務所人事学事担当学校訪問を通じて学校経営の支援や指導を適切 に行うことができました。 0
- ○新型コロナウイルスの感染拡大防止策について、具体的に学校に指示するとともに、感染者等の発生時の対応を支援す ることができました。
- △教育長訪問、南部教育事務所人事学事担当学校訪問で明らかになった課題について、いつ、どのような見直し改善が図 られたかを記録し、継続的に学校経営を支援していく必要があります。

【学校評価制度の活用】[評価B]

- ○前年度の評価を今年度の教育活動にいかすことができました。
- ○結果を公表することにより、地域や保護者の方への理解が深まりました。
- △学校ごとに大きく差が出てしまっているため、適正な評価方法についての研修等が必要です。

【小中学校通学区域審議会の開催】〔評価B〕

- ○小中学校通学区域審議会において、学校選択可能地域の在り方について検討し、見直しに向けて活発に議論することが
- △小中学校通学区域審議会において、学校選択可能地域の在り方について地域の方々はもちろん、多くの市民に理解い ただける内容とすることが課題となります。

【学校運営協議会の充実】

・学校運営協議会委員及び学校関係者を対象とした講師を招聘した講演会や先進校の取組紹介の研修会を開催し、各校の学校運営協議会の活動状況を共有できるようにします。また、学校運営協議会と学校応援団が両輪となり、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

【学校応援団の充実】

- ・学校応援団の登録者名簿の作成・管理を行い、学校とボランティアとの連絡及び調整を支援し、小中学校と地域の連携の充実を図ります。
- ・学校応援団連絡協議会を開催し、各校での応援団の具体的な取組について情報を交換し、学校応援コーディネーターの 育成、並びに各校での活動の充実及び発展を図ります。

【児童生徒の安全管理の充実】

- ・スクールガード・リーダーを全小学校に、引き続き1人ずつ配置し、児童の安全を確保します。
- ・スクールガード・リーダーは、学校における安全管理対策への参加、学校内外の安全点検、通学安全パトロール、不審者や 危険個所等に関する学校との情報共有、防犯教室や地域安全マップづくりなど、児童生徒の安全安心を確保するための活動の充実に努めます。

【部活動指導員・部活動外部指導者の派遣】

・専門的な指導力を有する外部人材を、技術的な指導に従事する部活動指導員や技術指導の補助を行う部活動外部指導者として中学校に派遣し、部活動を支援します。

【学校・家庭・地域が一体となった防災教育の推進】

- ・地震や台風、突風、竜巻などの自然災害に適切に対応するため、各校における防災教育を支援します。
- ・小学校5年生と中学校1年生では、ハザードマップ等を活用した防災学習を行います。
- ・小学校6年生と中学校2年生では、体験的な防災学習や、学校・家庭・地域が一体となった防災について学ぶため、避難所運営市民防災訓練に参加します。
- ・文部科学省委託事業「学校安全教育総合支援事業」を受け、取組の成果を広く市内に周知します。

【ふるさと草加学習の推進】

- ・地域学習等に関する先行研究を調査し、指導訪問や研修会等の機会に、各学校へ情報提供を行います。
- ・指導訪問や研修会等において、ふるさと草加学習を位置付けた草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムに関する理解促進と活用を図ります。
- ・研究委嘱を通じてふるさと草加学習の好事例を収集し、市内へ周知します。
- ・地域との連携の具体的な指導に関する研修会を開催します。

【土曜日等の教育活動の充実】

- ・望ましい土曜日等の教育活動について検討するため、「土曜日等の教育活動検討委員会」を開催します。
- ・スポーツ少年団や公民館など、学校教育外の土曜日等の教育活動の案内をパンフレットにまとめ、学校を通じて配布します。活動団体のPRを掲載するなど、パンフレットの改訂を図ります。
- ・パンフレットを幅広く周知し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進するとともに、地域人材の活用を図ります。

和【学校経営の充実】

以

3 ・校長会議、教頭会議、管理職対象の研修会を通して、リーダーシップを発揮し、学校の組織力を向上させ、教職員に的確な 指導ができる管理職の育成を図ります。また、中堅教員に対する指導を充実させ、今後、管理職を担うべく教職員が学校経 度 営に積極的に参画する取組を推進します。

【学校評価制度の活用】

- ・各校の教育活動その他の在り方について各校の教育活動その他の学校運営の状況について、振り返りを行い、自ら評価し、その結果を公表します。
- 取 ・評価方法について研修等を行う、分かりやすい参考資料を配布する等、適切な評価ができるように改善を行います。

【小中学校通学区域審議会の開催】

・小中学校通学区域審議会において、各校の規模や地理的要件、児童生徒の登下校における安全確保等の視点から、草加市立小中学校の望ましい通学区域の在り方についての見直しを図ります。

動

令和2年度点検及び評価表						
第三基	基本構成	I	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成	担当課名	総合評価	
次教育振興基本計画	基本目標	2	学校・家庭・地域の連携・協働の推進	子ども教育連携推進室	В	
	施策	2-2	家庭教育への支援	7 子とも教育建務推進主	Б	

目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、家庭への周知と子どもへの関わり方、子育てに関する知識等を情報提供するな ど、家庭教育の充実を図ります。

「親の学習」講座については、講師となる埼玉県家庭教育アドバイザーに対し、子ども教育連携推進に関する理念の浸透を図る ことで、講師の質の向上と育成に努めるとともに、保護者向けに配布しているリーフレットを十分に活用しながら実施することで、講 座の内容を一層充実させます。

【「親の学習」講座及び子育て講演会の開催】

- ・市内全ての小学校で、保護者向け「親の学習」講座を開催しました
- ・市内全ての中学校で、保護者向け「親の学習」講座を動画配信により開催しました。
- ・子育て講演会は、小学校入学前後期の子育て、思春期の子育てをテーマに対面式で2回開催しました。また、乳幼児期の 子育てをテーマに、動画配信で1回開催しました。
- ・子育て講演会の開催について、園や学校を通じてお知らせを配布するとともに、ホームページや広報への掲載、市内4駅、 公共施設などへポスター掲示を行い、周知を図りました。

【子育てリーフレット及び家庭・学校連携シートの配布】

- ・草加市子ども教育連絡協議会委員協議会を開催し、リーフレットの改定作業を進めました。
- ・教育支援室との連携のもと、家庭・学校連携シートを希望する保護者へ配布し、家庭と小学校が入学児童に関する情報を 共有できるようにしました。59件の提出があり、うち24名の保護者が学校との面談を希望し、実施しました。

内 容 実 績

- ・「親の学習」講座は、PTA連合会と連携しながら実施しているのでありがたいです。アンケートの93.5%という肯定的な回答は十 分な数字だと思います。今後もこういう機会を増やして継続してほしいです。
- ・リーフレットを配布して家庭に情報提供をするのは良いと思いますが、家族の在り方が多様化しているので、特定の家族像を押し 付けないように留意してほしいです。
- ・子育てに困ったときの相談窓口のアナウンスも重要であると思うので、周知してほしいです。
- ・幼保小中の取組が手厚いため、出口となるその後の進路の支援が薄く感じてしまいます。これは、行政全体で解決すべき課題と して、フォローしてもらえるところへのつなげ方等を考えていければ良いと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)			
	事務事業費	総額(円)	0	807,664	2,069,000			
	(財源内訳・単位円)	一般財源	0	807,664	2,069,000			
		特定財源	0	0	0			
個	家庭教育支援事業		0	807,664	2,069,000			
別事務								
事業								
名								
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)			
	し、家庭・地域の教育力の向	図り、今後の家庭教育について 同上を目指します。 必要なことを学ぶ機会を提供し	(1) 00 510((4) 4000/				
cl:		(1) 93.51%	(1) 100%					
成果指標	(1)「親の学習」講座受講者7 今後の子育てや子どもとの打 と回答した保護者の割合 (2)「親の学習」講座受講者7 ことに希望がもてた」と回答し	(2) —	(2) 95%					
		所属評	価・達成状況					
	(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の影響により、時間短縮や開催方法を変更する等の対応をした上で保護者向け講座を実施しました。 (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の影響により、中学生向け講座を実施できませんでした。令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、講座実施を予定しています。							
果〇と課題	○保護者向け「親の学習」講りした。 ○子育で講演会を開催し、実 △新型コロナウイルスの感染 ドバイザーの指導力向上を図 △新型コロナウイルスの感染 的に募集を行い、講師を確保 【子育てリーフレット及び家庭 ○リーフレットを作成・配布した ○ 草加市子ども教育連絡協議 とができました。 △新型コロナウイルスの感染	度は新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、講座実施を予定しています。 「親の学習」講座及び子育て講演会の開催】【評価B】 ○保護者向け「親の学習」講座を開催し、実施後のアンケートでは、93.51%の参加者から肯定的な回答を得ることができまた。 ○子育て講演会を開催し、実施後のアンケートでは、93.02%の参加者から肯定的な回答を得ることができました。 ○子育て講演会を開催し、実施後のアンケートでは、93.02%の参加者から肯定的な回答を得ることができました。 ○新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により「親の学習」講座を中止・短縮したことから、講師となる埼玉県家庭教育アドバイザーの指導力向上を図るため、研修会を充実させる必要があります。 ○新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、新規の埼玉県家庭教育アドバイザーを養成できなかったことから、計画内に募集を行い、講師を確保する必要があります。 子育てリーフレット及び家庭・学校連携シートの配布】【評価B】 ○リーフレットを作成・配布したことにより、家庭や地域に向けて取組を広くお知らせすることができました。 ○草加市子ども教育連絡協議会委員協議会において、幼保小中の教職員の声を反映しながら「笑顔で子育て」を改定するこ						
令	【「親の学習」講座及び子育で・草加市「親の学習」講座指導会を実施します。	算者養成事業による養成者及び						

- 和 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、保護者向け「親の学習」講座を市内全小中学校で、中学生向け「親の学習」講座を市内全中学校で実施します。
 - ・各校のPTA主催で保護者向け「親の学習」講座が開催されるよう、市PTA連合会等に働きかけます。
 - ・幼稚園・保育園等に対して、保護者向け「親の学習」講座の開催を引き続き周知します。
- 度 ・ 「子育て講演会」については、参会者アンケート等の内容を基に、様々な保護者が参加できるよう、内容を見直しながら実施 します。

降 【子育てリーフレット及び家庭・学校連携シートの配布】

組

- の ・草加市子ども教育連絡協議会委員協議会において、リーフレット「もうすぐ一年生」「エンジョイ!中学校生活」を改定します。
 - ・就学期の子どもを持つ保護者が不安や悩みを小学校に伝え、家庭と小学校が連携して子どもの円滑な就学に取り組めるよう、家庭・学校連携シートを配布します。

	令和2年度点検及び評価表						
第三基	基本構成	I	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 「草加っ子」の育成	担当課名	総合評価		
火工	基本目標	3	教育環境の整備・充実	学校施設課	В		
教育振興本計画	施策	3-1	安全安心な学校教育施設の整備・充実	総務企画課	Б		

草加市公共施設等総合管理計画、草加市学校施設整備基本方針及び学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、校舎等の大規模 改修・トイレ環境の改善等、安全安心な教育環境の整備を環境に配慮しながら効果的・効率的に進めます。

学校施設は、災害時の避難所としての指定を受けていることから、関係部局との連携を図り、防災機能の向上に取り組みます。

奥日光自然の家は、施設の老朽化が著しいことから、草加市公共施設等総合管理計画を踏まえ、当面、現有施設の改修などを行いながら維持 管理や運営に取り組むとともに、今後の施設の在り方についての検討を進めます。

【学校施設の維持管理】(学校施設課)

- ・学校からの依頼等に基づき、小学校76件、中学校63件の修繕を実施しました。
- ・小学校8件、中学校5件の小規模工事を実施しました
- ・小学校4校について、危険ブロック塀の改修工事を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、全小中学校の手洗い場及びトイレ内の水栓器具について、手回し式からレバー式水栓に交換 する工事を実施しました
- ・中学校1件(谷塚中学校屋内運動場器具庫改修工事)の普通工事を実施しました。

【屋内運動場へのエアコン導入】(学校施設課)

- ・小学校4校、中学校3校の屋内運動場エアコン設置等工事及び監理業務委託の発注を行いました。
- ・小学校6校、中学校1校の屋内運動場エアコンについて、実施設計業務委託の進捗管理と、各校及び関係各課と工事実施時期について 調整・確認を行いました。
- ・小中学校18校について、屋内運動場エアコンの早期整備を目指すため、設計・施工一括発注方式を採用するに当たり、支援事業者を選 定しました。

【校舎等の大規模改修等】(学校施設課)

- ・中学校9校のトイレについて、工事を実施しました。 ・中学校8校のトイレについて、実施設計業務委託の進捗管理と、各校及び関係各課と工事実施時期について調整・確認を行いました。
- ・草加市学校施設等長寿命化計画を策定しました。

【自然の家の管理・運営】(学校施設課)

・奥日光自然の家の修繕を8件行いました

・新型コロナウイルスの感染状況が改善しているとは認められないため、利用者・施設職員の安全性を考え、奥日光自然の家の開所を中止 動 しました

内 【共通管理備品の整備】(総務企画課)

- 容 ・小中学校32校の酸性電解水生成器を整備しました。
- ・小学校1校の大型スクリーンを整備しました 実
 - ・小学校1校及び中学校2校のエアコンを整備しました。
 - ・小学校1校の遮光カーテンを整備しました。
 - ・中学校1校の物置を整備しました。
 - ・小学校2校の書架を整備しました。
 - ・中学校2校のAEDを整備しました
 - ・学級増に対応するため、教員用机・椅子・教卓の備品を整備しました。
 - ・小学校5校及び中学校1校の電動裁断機を更新しました。
 - ・小学校2校及び中学校1校の拡大機を更新しました。
 - ・小学校2校の放送機器を更新しました。
 - ・小学校2校及び中学校1校の防犯カメラを更新しました。
 - 小学校1校のシュレッダーを更新しました。
 - ・中学校1校のプログラムチャイムを更新しました
 - ・小学校4校及び中学校1校のエアコンを更新しました。
 - ・小学校1校のシューズボックスを更新しました。
 - ・中学校1校の紙折り機を更新しました。

- ・学校施設等長寿命化計画を策定したとのことですが、学校のことは保護者もとても興味があるので、難しいこととは思いますが優 先順位を付けて進めてほしいです。また、PTA等に今後の方向性を教えてもらえると助かります。
- ・全小中学校の校舎のトイレ改修工事が令和4年度に完了するのは大変良かったです。
- ・学校プールの利用頻度を考えると、費用対効果が低い印象があります。市の限られた予算の中で考えると、いつまで続けていく べきか検討していく必要があるのではないでしょうか。
- ・奥日光自然の家についても、費用対効果が低い印象があるので、プールとともに検討していく必要があると思います。
- ・コロナ禍で予算が厳しいのは分かりますが、その中でも教育にかかる予算がかからないわけではないので、予算の減額はしない でほしいと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)	
	事務事業費	総額(円)	2,178,738,760	2,062,563,997	2,261,488,000	
	(財源内訳・単位円)	一般財源	1,102,846,327	903,314,425	926,991,000	
		特定財源	1,075,892,433	1,159,249,572	1,334,497,000	
	学校施設維持管理事業(小・中等	学校)	401,984,683	229,108,915	156,189,000	
個	学校維持管理運営事業(小·中等	学校)	566,478,914	349,373,355	400,201,000	
別事務事業名	エアコン設置等事業(小・中学校)	257,633,728	708,275,368	1,579,543,000	
多数	トイレ環境改善整備事業(小・中	学校)	238,814,300	715,513,700	40,134,000	
事	学校管理備品整備事業(小・中等	学校)	22,057,630	22,981,740	18,445,000	
業	奥日光自然の家管理運営事業		57,085,214	37,310,919	66,976,000	
名	非構造部材耐震化事業(小学校)	309,032,900	0	0	
	校舎等大規模改造事業(中学校		325,651,391	0	0	
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)	
cl:	屋内運動場にエアコンを設置し、教育環境の向上と避難所としての防災機能の強化を図ります。					
成果	指標名			21.9%	100%	
指標	屋内運動場へのエアコン導入率					
「示	────────────────────────────────────					

小学校4校、中学校3校の工事を行い、目標を達成することができました。

【学校施設の維持管理】[評価B]

○小学校4校の危険ブロック塀の改修工事を予定通り完了しました。

- ○全小中学校の手洗い場及びトイレ内の水栓器具について、手回し式からレバー式水栓に交換する工事を完了しました。
- ○中学校1件の普通工事を予定どおり完了しました。
- ○小規模工事及び修繕等について、必要に応じて対応しました。

△雨漏りや各種設備等老朽化による不具合が発生しており、今後、その発生件数は多くなることが予測されます。安全の確保、授業等への 支障などを考慮し、必要に応じた対応が求められます。

【屋内運動場へのエアコン導入】〔評価A〕

- ○小学校4校、中学校3校の屋内運動場エアコン設置等工事及び監理業務委託を完了しました。
- ○小学校6校、中学校1校の屋内運動場エアコンについて、実施設計業務委託の進捗管理と、各校及び関係各課と工事実施時期について 調整・確認を完了しました。
- ○小中学校18校について、屋内運動場エアコンの早期整備を目指すため、設計・施工一括発注方式を採用するに当たり、支援事業者を 選定しました
- 成. △エアコン設置後のアフターフォローが必要です。

果 【校舎等の大規模改修等】〔評価B〕

0

- ○中学校9校のトイレについて、工事が完了しました。○中学校8校のトイレについて、実施設計業務委託を完了しました。 価
 - ○草加市学校施設等長寿命化計画の策定を完了しました
 - 題 △今年度、トイレ改修工事の設計を行った中学校8校に関して、令和3年度に工事を実施するに当たって、学校及び関係課と細部について 調整を図る必要があります。 Δ
 - △トイレ改修後のアフターフォローが必要です。

【自然の家の管理・運営】〔評価B〕

○必要な修繕及び工事を行い、施設の維持管理に努めました。

△施設が建設から長年経過していることを踏まえ、今後も随時必要な修繕を行わなければなりません。また、利用者の人数が減少しているこ とから、広報等を利用した市民等への広報活動を行う必要があります。

【共通管理備品の整備】〔評価B〕

○令和2年度予算計上時に学校から受けた要望については、必要に応じて学校現場を確認した上で、公募による見積り合わせを積極的に 実施し、購入を進めました。また、年度途中で要望のあった備品についても内容を精査し、必要と認められたものについて積極的に購入を 行い、予算の範囲内で学校備品の充実を図りました。

△建設から長年経過している学校においては、突発的に不具合が生じ、教育環境に支障をきたす放送機器、エアコン、電話設備等の更新 が必要となることがあり、予算の確保は、引き続き、留意が必要です。また、特別教室の机・椅子については、更新に大幅な予算を必要とす るため、要望等を精査し、計画的に整備していくことが必要です。

【学校施設の維持管理】

- ・学校からの依頼や要望等に基づき、修繕及び小規模工事等を計画的に実施します。
- ・小学校1校、中学校3校の危険ブロック塀の改修工事を行います。

【屋内運動場へのエアコン導入】 슦

- ・小学校6校、中学校1校の屋内運動場エアコン設置等工事及び監理業務委託を実施します。
- 和 ・小学校11校、中学校7校の屋内運動場エアコンについて、設計・施工一括発注方式により、実施設計及び工事を実施します。

【校舎等の大規模改修等】

3

在

度

組

- ・中学校8校のトイレ改修工事及び監理業務委託を実施します。
- ・中学校7校のトイレ改修工事実施設計を実施します。
- ・草加市学校施設等長寿命化計画に基づく施設の修繕や改修を計画的に推進していきます。

以 降 【自然の家の管理・運営】

- 0 ・児童生徒、一般利用者が安全安心して利用できるよう、今後も施設の改修及び修繕を計画的に実施し、維持管理を行っていきます。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら開所を行います。 取
 - ・草加市奥日光自然の家の在り方等検討委員会での報告書に示された、「今後の自然の家の在り方」の実現に向けて管理運営体制の見直 しを検討していきます。

【共通管理備品の整備】

老朽化した放送機器、エアコン、事務機器、書架及び特別教室等の備品を更新します。

令和2年度点検及び評価表 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる 基本構成 Ι 担当課名 総合評価 次基 「草加っ子」の育成 教本 教育環境の整備・充実 基本目標 3 計 指導課 育 В 画 総務企画課 3-2 学習環境の整備・充実 施 策 睴

学習指導要領を踏まえ、児童生徒が学習内容を確実に身に付けられるよう、必要な教材教具の整備を進めます。特に、情報教育機器については、コンピュータを始めとする情報機器や情報ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、それらを適切に活用したプログラミング教育を含めた学習活動の充実を図ります。また、学校図書館の蔵書及び環境も充実させます。

特色ある学校経営の推進に向け、各校の教育目標の達成を目指し、積極的な活動ができるように教育環境や学習環境の整備を 行い、各校の主体的な取組を支援します。

【ICTの整備と活用】(指導課)

- ・小中学校の児童生徒1人1台のタブレット端末の整備を行いました。
- ・校内LAN整備として、普通教室及び特別教室に1つアクセスポイントを設置しました。
- ・小中学校の普通教室及び特別支援教室にタブレット端末を収納できる電源キャビネットを設置しました。
- ・ICT支援員を各校に配置し、年間20回派遣しました
- ・タブレット端末を活用できるよう、オンラインによる研修会を実施しました。
- ・校務支援システムの活用が充実できるよう、オンラインによる研修会を実施しました。
- ・ネットワーク環境がない家庭がオンライン授業に対応できるよう、必要数の調査を行い、Wi-Fiルーターを購入しました。

【教材教具の整備】(総務企画課)

- ・体育の授業などの充実のため、エバーマット(1校)、土俵マット一式(2校)を整備しました。
- ・音楽の授業などの充実のため、チューバ(1校)、ドラムセット及びコンサートトム(1校)、テナーサックス及びソプラノサックス (1校)、和太鼓(1校)を整備しました。
- ・学級増に対応するため、オルガン(7校)を整備しました。
- ・理科備品については、重点設備に指定されている備品を中心に購入しました。

よ 【特色ある学校経営を推進するための予算の充実】(総務企画課)

・学校配当予算の適正執行を図るため、小中学校長会議(4月13日)において、法令・マニュアル等を遵守した予算執行や、PTA協力費の廃止の要請・指導を行いました。また、配当予算の適正執行に向け、契約に関する事務の適正な遂行を含め、学校予算執行に係る留意事項等について、文書で周知を行いました。

- ◇ ・特色ある学校経営推進事業補助金(クラブ活動・部活動等補助金)については、各校の申請をまとめ、交付決定(5月27度)と行いました。
 - ・感染症対策・学習保障等支援事業補助金については、各校の申請をまとめ、交付決定(9月4日)を行いました。
 - ・令和3年度学校配当予算の編成のため、学校長と配当予算ヒアリング(11月12日、13日、16日、17日)を実施しました。

- ・ICTの整備と活用について、ただタブレットを配布しただけでは意味がないので、きちんと活用できるようにすることが必要です。 授業展開も工夫してほしいです。
- ・ICT支援員を配置し、教員の負担を減らし質を上げることは有効であると思います。
- ・Wi-Fiルーターの購入は、ネットワーク環境がない家庭にいる子どもをフォローできるので、きめ細かな取組として評価できます。
- ・臨時休校になる前に、事前に双方向でやりとりできるか確認しておくことが必要だと思います。場合によっては、夏休みなどを利用して保護者にも協力してもらい課題を整理してみてはどうでしょうか。
- ・今後タブレットが壊れた時の対応なども考え、安心して使える環境をお願いします。
- ・感染症対策として、国の補助金等を活用し、各校に迅速に補助金を交付していただいたおかげで、子どもたちの学びの保障に つながったと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	642,789,257	2,205,169,872	751,591,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	641,848,257	769,743,899	750,639,000
		特定財源	941,000	1,435,425,973	952,000
	情報教育環境整備事業(小・)	中学校)	339,726,322	1,717,952,019	417,556,000
個	教材教具整備事業(小·中学	校)	7,563,140	5,939,406	6,851,000
別事務	教科書等整備事業		12,257,418	84,409,999	51,143,000
多数	特色ある学校経営推進事業(小・中学校)	283,242,377	396,868,448	276,041,000
事					
事業名					
名					

		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	教員が授業中にICTを活用したり児童生徒にICTを活用させたりすることで、 授業の充実を図ります。			① 65.6%	① 90% (80%)
<u> </u>		 指標名		2 57.3%	2 90%
成里	極業由はIOTな新田1 旧本			(80%)	
果指標	授業中にICTを活用し、児童 ①小学校 ②中学校	生徒にICTを活用させることが	いだる教貝の割合		※()内は当初目標値
1235		785	压头出口		

所属評価・達成状況

目標値まで大きな差がありますが、GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末の整備等が進む中で、教員の指導力向上が 喫緊の課題であります。研修会を実施しながら指導力の向上を図ります。

【ICTの整備と活用】〔評価B〕

- ○1人1台タブレット端末を整備することで、一人ひとりの学習状況に応じた学びやお互いの考えをリアルタイムで共有するこ とができるようになりました。
- ○ネットワーク環境がない家庭でもオンライン授業が受けられる環境が整いました。
- ○校内LAN整備として、各普通教室及び特別教室に1つアクセスポイントを設置することで、1人1台タブレット端末に対応で きるようになりました
- ○校務支援システムを活用することにより、教員の作業の効率化を図りました。
- △大型提示装置、タブレット端末等のICTの活用を更に推進するための研修が必要となります。
- △教員がICTを活用したり、児童生徒に活用させたりするなど、授業で効果的にICTを活用できるようにする必要があります。 △ICT支援員の派遣回数等を更に充実させる必要があります。

【教材教具の整備】〔評価B〕

- ○令和2年度予算計上時などに、学校から要望を受けた教材教具備品の購入に関しては、予算の範囲内で計画的に予算執 0 行し、教材教具の充実を図ることができました。
 - △楽器に限らず、学校配当予算では整備しづらい教材教具にどのようなものがあるかを引き続き検討していく必要がありま 課 題
 - ○国の補助金等を活用し、今年度は各校に感染症対策・学習保障等支援事業補助金を交付したことに伴い、各学校が、迅 速に新型コロナウイルス感染拡大防止策などの対応にあたることができました。

【特色ある学校経営を推進するための予算の充実】(評価A)

- ○平成26年度から学校配当予算を一元化したことにより、学校の考えが反映された形で予算計上することができ、執行しや すく、クラブ・部活動等補助金も含め、効率的な学校運営につながっているとの声が上がっており、一元化した目的が達成さ れていると考えます。
- △児童生徒が積極的に学習できるような学校環境を整えるため、各校に意見を聴取しながら、必要となる学校予算について 把握し、引き続き予算を確保していく必要があります。
- △予算執行については、契約に関する事務も含め、学校事務職員等が適正かつ効率的に処理できるよう、確認及び研修等 を行っていく必要があります。

【ICTの整備と活用】

- 大型提示装置を市内全小中学校に設置します。
- ・タブレット端末の活用方法について研修会を実施し、市内の教員に周知するとともに指導の充実を図ります。
- ・教員がICTを授業で効果的に利活用できるよう研修を充実させます。 和
 - ・タブレット端末を活用した授業やプログラミング教育の授業を実施し、ICTを活用した授業を推進します。

【教材教具の整備】

3

在

度

以

組

- 学校の要望などに基づき、老朽化した楽器などの更新を進めます。
- ・理科備品の計画的・継続的な購入を目指します

【特色ある学校経営を推進するための予算の充実】

- 降 ・各校における予算執行状況等を確認し適正執行できるよう、学校事務職員等に対する研修等を継続していきます。
- **0** ・学校長ヒアリングを実施し、各学校の状況に基づいた予算編成を行います。 取
 - ・特色ある学校経営推進事業補助金の交付手続を、交付要綱に基づき進めます。
 - ・国の補助金等を活用し、各校に感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金を交付し、感染症対策などの充実を 図っていきます。

	令和2年度点検及び評価表							
第三基	基本構成	П	学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の 推進	担当課名	総合評価			
次教育	基本目標	4	学びの成果が発揮される生涯学習の推進	生涯学習課	В			
ī振興	施策	4-1	生涯を通した多様な学習機会の充実	工涯于自际	Ь			

学びのきっかけづくりとして、市内にある学習情報を集約化した生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」の充実と普及に努めます。また、生涯学習指導者バンク制度の周知と活用を進めることで、気軽に学習を始める体制を整えます。

大学、NPO法人、民間企業などと連携し、そうか市民大学や子ども大学そうかの内容の充実に努め、市民の高度で多様な学習ニーズに応じた学習機会を提供します。

学習の成果を地域づくりにつなげるため、社会教育関係団体への活動支援や新成人のつどいなどの機会を活用します。 学びを通して得た絆をいかし、地域を支える人材の育成を目指します。

【学びのきっかけづくり】

- ・生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」において、申込フォーム機能を積極的に活用することにより、サイト運用の幅を広げるよう努めました。また、サイトの更なる活用を促すため、危機管理課で運営するLINEアカウントとの連携に向けた調整を行いました。
- ・市ホームページの更新に努め、サイトとの連携を図りました。
- ・年間を通じて生涯学習体験講座を開催し、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりとするとともに、指導者バンク登録者に活動の場を提供しました。
- ・指導者バンクガイドブックを発行し、指導者バンクの周知に努めました。
- ・生涯学習情報紙「マイ・ステージ」(広報そうか12月5日号折り込み)の発行について、編集委員のご協力を得ながら企画・ 取材を行い、生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」や生涯学習体験講座等の情報を提供しました。
- ・草加市社会教育委員会議を1回開催しました。
- ・公民館・文化センター6館を含む社会教育施設(8施設)について、今後の施設維持管理コストの平準化を図るために草加市学校施設等長寿命化計画を策定しました。
- ・谷塚西公民館跡地について、教育財産の用途廃止を行い、令和3年度より、地域コミュニティ活動の促進を目的とした地域 ふれあい広場として供用することとしました。

【学びの充実とネットワークづくり】

- ・そうか市民大学後期講座(5講座)を開催しました(後期講座(1講座)及びそうか市民大学特別公開講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました)。
- 動 ・獨協大学と共催で「子ども大学そうか」を開校し、参加児童22人、5つの講義を実施しました。また、定員増員に向け、獨協 大学と調整を行いました。
- 容 ・獨協大学オープンカレッジの開催を共催し、市民に様々な学習機会を提供しました。

実【学びの成果をいかす人づくり】

- ・新成人のつどい実行委員会を組織し、8月から11月までの会議(全4回)において今年度のテーマやシンボルマーク、当日のアトラクション等を決定しました。
- ・新成人のつどいへの参加を促すために、広報そうかに記事を掲載(12月5日号)するとともに、住民登録のある新成人(2,558人)に対して案内はがきを発送しました。また、住民登録のない新成人に対しても、参加を希望する方について同様に案内はがきを発送しました。
- ・令和3年1月11日(祝)獨協大学35周年記念館アリーナにて開催を予定していた新成人のつどいについて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客でのオンライン配信に開催方式を変更しました。当日の運営・警備体制として、教育総務部職員及びガーディアン・エンジェルス草加支部の協力をいただくとともに、民間警備員も配置し、開催方式変更を知らずに来場した参加者への対応を行いました。
- ・各平成塾運営委員会に対して活動助成金の交付を行うとともに、各運営委員会にて助言を行うことにより、各平成塾の活動を支援しました。
- ・「第23回草加市平成塾活動合同発表会」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止としました。
- ・小山平成塾のエアコンが故障したため、エアコンを購入しました。また、草加平成塾、八幡平成塾において、エアコン室内 機洗浄修繕を行い、快適な施設利用を図りました。
- ・栄小学校一般開放施設の貸出について、草加市シルバー人材センターに管理及び清掃業務を委託することにより、利用しやすい施設管理に努めました。

- ・生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」は以前に比べて分かりやすくなり、身近になったと思います。ワクチン接種予約でも分かるようにスマートフォンの扱いに慣れていない方もいるので、サイトの充実と同時並行で各館の窓口にサークル紹介冊子等を置くなど使う方の実情にあった活用をお願いしたいです。
- ・子ども大学そうかについては、かなり人気があり、市にとっても有意義なものであると感じるため、是非増員すべきであると思いませ
- ・コロナ禍において、やめてしまうのは簡単ですが、そうではなく新成人のつどいをYouTubeで配信したという取組は素晴らしいと思います。
- ・平成塾について、栄小学校などにぎわっているところの取組を参考に周知の仕方も含めて、利用者やクラブ数の伸び悩んでいる 学校にいかすことができないか検討してほしいです。また、自分の住んでいる地域にある平成塾の活動の内容が分からないことが あります。地域に住んでいる方にも活動内容が分かるようにしていくことも大事だと思います。
- ・文教大学が足立区にキャンパスを開設し、谷塚駅周辺の商店街や町会とコラボした活動をし始めているので、教育委員会においても、獨協大学、上野学園に続いて、協力関係を築けると良いのではないかと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)	
	事務事業費	総額(円)	28,293,621	19,654,826	21,473,000	
	(財源内訳・単位円)	一般財源	26,898,041	19,095,046	20,065,000	
		特定財源	1,395,580	559,780	1,408,000	
	生涯学習推進体制整備事業		11,610,938	7,837,087	3,471,000	
個	そうか市民大学運営事業		1,465,057	756,415	2,121,000	
別事務事業名	大学公開講座等推進事業		4,300,000	2,100,000		
多	子ども大学そうか事業		200,705	117,689		
事	新成人のつどい企画運営事業		5,912,406	4,538,961	6,019,000	
業	平成塾設置•管理運営事業		1,637,990	1,802,334	1,773,000	
名	栄小学校施設一般開放事業		3,166,525	2,502,340	3,622,000	
		h —				
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)	
	生涯学習活動の成果が地域	づくりにいかせるよう取り組んて				
成		指標名			33%	
成果指標	生涯学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、地域活動やボランティア活動にいかしている人の割合					

所属評価・達成状況

今回より新たに第3期埼玉県教育振興基本計画の施策指標を参考に、令和5年度目標を設定し、初めて市民にアンケートを 実施したところ、県の目標値を上回る結果となりました。引き続き、成果を上げられるように取り組んでまいります。

【学びのきっかけづくり】〔評価B〕

○生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」について、3月末より市の公式LINEアカウントの画面表示メニューの中に講座・ イベント情報としてリンクさせることにより、サイトの周知を図るとともに、学びのきっかけとなる情報提供体制の強化を図りまし

△生涯学習情報の提供体制について、引き続きインターネットや紙媒体等様々な媒体を用いた情報提供に努めます。

【学びの充実とネットワークづくり】〔評価B〕

○そうか市民大学では、新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により実施講座数が減ってしまったこともあり受講料収入 こついては減少しましたが、例年の後期講座と比較すると申込者数は微増となりました。

○子ども大学そうかにおいて、新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、獨協大学構内での講義は実施できませんで したが、大学の講義を体験することにより、参加児童に普段の学校とは違う体験をしていただくことができました。また、参加児 童並びに保護者アンケートの回答についても、高い評価をいただくことができました。

〇【学びの成果をいかす人づくり】〔評価B〕

○新成人のつどいにおいて、YouTubeでのライブ配信により、新成人代表による誓いの言葉や市民憲章の朗読を行い、社 会の一員たる成人としての成長と自覚を促す機会とすることができました。

○ライブ配信の最大同時接続数は828件、再生回数は3,616回でした。 題

△式典開催に向け、新型コロナウイルス感染拡大防止策や、獨協大学打合せなどを徹底して行う必要があります。 Δ

△多数の参加者が見込まれるため、会場周辺の住民や店舗に影響を与えることを考慮し、引続き警備体制の検討が必要とな ります

△開催会場の早期決定・公表をする必要があります。

- ○課題のある平成塾サークルの支援を行うなど、平成塾の基盤強化に取り組みました
- ○経年劣化している平成塾の設備の修繕等を行い、安全で利用しやすい施設の維持を図りました。
- △平成塾利用者の高齢化、所属サークル数の減少に伴う世代間交流事業の減少等に対応するため、利用者の拡大を図る 必要があります。

△栄小学校一般開放施設を円滑に運営するため、共同利用している学校・平成塾・学校開放団体・放課後子ども教室と引き 続き調整を図っていく必要があります。

【学びのきっかけづくり】

3

以

降

ത

取

- ・生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」及び市ホームページの内容の充実を図ります。
- ・年間を通じて生涯学習体験講座を開催します。

【学びの充実とネットワークづくり】

- ・そうか市民大学推進委員会において協議し、魅力ある講座を開催します。
- ・獨協大学と共催で子ども大学そうかを開催します。また、定員を増員できるよう引き続き調整していきます。
- ・獨協大学オープンカレッジ及び上野学園大学短期大学部公開講座の開催を支援します。

年 【学びの成果をいかす人づくり】 度

- ・推薦及び公募により新成人のつどい実行委員会を組織し、新成人のつどいの開催に向けて準備を進めます。
- ・開催会場の早期決定・公表ができるよう、関係機関との調整を進めます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策や、獨協大学打合せ等を徹底して行い、安全な式典実施に向けた準備を進めます。
- ・平成塾活動助成金が有意義に活用されるよう、平成塾の活動を支援します。
- ・平成塾と学校が円滑に事業を進めることができるよう、調整を行います。
- ・平成塾利用者の拡大のため、事業の周知に取り組みます。
- ・安全で快適に平成塾を利用していただくために、必要な修繕等を行います。 ・栄小学校一般開放施設を安全で快適に利用していただくために、必要な管理・運営を行います。
- ・栄小学校一般開放施設の利用拡大のため、周知に取り組みます。

	令和2年度点検及び評価表						
第三基	基本構成	П	学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の 推進	担当課名	総合評価		
次 教 計	基本目標	4	学びの成果が発揮される生涯学習の推進	中中公民 館	D		
振興	施策	4-2	公民館・文化センターの整備と 生涯学習環境の充実	中央公民館	В		

公民館・文化センターの整備については、草加市公共施設等総合管理計画に基づき施設の長寿命化を図るため、適切に施設の状況を把握し、より効果的・効率的な維持管理や修繕に努めるとともに、公民館・文化センターの長寿命化計画(個別施設計画)の策定を進めます。なお、中央公民館及び川柳文化センターについては、耐震化に向けた施設の整備も併せて検討します。

公民館・文化センターの運営については、放課後における子どもたちの居場所づくりを継続して進めるとともに、子育て支援事業 及び高年者事業の充実並びに外国籍市民向けの事業の実施を進めます。

併せて、既存や新規事業について、大学、NPO法人、サークルや団体など民間学習団体の学習資源の積極的な活用を図りませ

また、施設利用については、利用手続の簡素化や利用条件の緩和など、学習施設の利便性の向上の検討を進めます。

【地域における生涯学習施設の整備】

- ・施設の継続的な活用のため、草加市学校施設等長寿命化計画を策定しました。
- ・施設管理については、各館の緊急修繕を実施するとともに、川柳文化センターにおいて、体育室の緞帳改修工事及び3階防火シャッター改修工事を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒等を準備するとともに、公民館施設運用管理基準を作成し、利用者に感染 防止対策の実施を促しました。

【身近で地域性をいかした学習機会の提供】

・各公民館・文化センターの主催事業として、青少年事業30事業、成人事業50事業、高年者事業16事業、総合事業16事業、音楽と文化のまちづくり11事業の計123事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館・文化センターまつりなどの3密が想定される事業を中止するとともに、令和2年4月1日から6月14日まで及び令和3年1月25日から3月21日まで施設の利用休止と合わせ、事業等の中止や延期を行いました。

活動内容実績

- ・コロナ禍で利用者数が減ったのは仕方がないことですが、コロナ後は人々の意識も変わると思うので、何らかの取組を考えていくべきではないでしょうか。
- ・災害などの緊急事態における施設の活用について、日頃から柔軟に対応できるよう、手続などの準備をしておくべきであると思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)		
	事務事業費	総額(円)	143,870,009	143,575,396	157,198,000		
	(財源内訳・単位円)	一般財源	122,030,830	120,331,290	119,264,000		
		特定財源	21,839,179	23,244,106	37,934,000		
	公民館等事業(6公民館)		143,870,009	143,575,396	157,198,000		
個							
別事							
務							
務事業名							
莱							
111							
		成果目標	•	実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)		
	公民館を活用して生涯学習活動に取り組む市民を増やします。						
成		指標名		243,332人	600,000人		
成果指標	公民館・文化センター利用者数						
	新型コロナウイルスの感染拡大による施設の利用休止や活動自粛等が続き、実行できなかった行事や講座を縮小したことが						
		例:エートノソイルへツ心を実は人による心臓なりが月が止て行動日衆寺が就る、天1」てきながった1] 事で講座を稲小したことが					

新型コロナウイルスの感染拡大による施設の利用休止や活動自粛等が続き、実行できなかった行事や講座を縮小したことが 影響しています。

【地域における生涯学習施設の整備】〔評価B〕

- ○草加市学校施設等長寿命化計画を策定し、今後の施設整備等の方向性を明確にしました。
- ○各館において緊急修繕を実施するなど、利用者の利便性の向上及び安全性の確保を図りました。
- △新型コロナウイルス感染拡大防止の措置を継続して実施する必要があります。
- △中央公民館及び川柳文化センターの耐震補強及び大規模改修について、調整を図る必要があります。

【身近で地域性をいかした学習機会の提供】〔評価B〕

- ○事業数等は大きく減少しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、事業等を実施することができま した。

評価のと課題ム

和

3

年

度以降の取組

【地域における生涯学習施設の整備】

- ・各館において、安全で快適に利用していただくために、必要な修繕等の管理を行います。
- ・中央公民館及び川柳文化センターの耐震補強及び大規模改修について、調整を図ります。

【身近で地域性をいかした学習機会の提供】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を実施して、各種事業等を行います。なお、実施に当たっては、オンライン配信等 も含めて準備を進めます。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が続く影響により、会員の減少等の理由で活動が難しくなったサークル・団体等の支援に努めます。

	令和2年度点検及び評価表							
第三基	基本構成	П	学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の推進	担当課名	総合評価			
次 教 計	基本目標	4	学びの成果が発揮される生涯学習の推進	生涯学習課	В			
振興	施策	4-3	文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な 取組の推進	歴史民俗資料館	Ь			

草加の歴史文化を構成する貴重な文化財について、草加市文化財保護指針を踏まえ、「文化財保護意識の高揚」、「文化財保護体制の確立」、「文化財保護施設の整備」の三つを大きな柱とし、個々の取組を推進します。

【文化財保護意識の高揚】(生涯学習課)

- ・「草加お宝かるた」を、令和2年度の小学校の新入生に配布しました。また、令和3年度の新入生に対し年度当初に配布できるよう準備を進めました。
- ・指定文化財について現況調査をするとともに所有者と意見交換を図りました。また、安全面の観点から、老朽化したふるさと歩道道標 (10本)について撤去しました。
- ・草加松原に係る次年度の整備計画について、庁内検討会において意見交換の上で調整を図りました。その後、保存活用委員会において計画内容についての承諾を得て、事務手続を進めました。

【文化財保護体制の確立】(生涯学習課)

内

容

実

績

- ・埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地における開発に伴う発掘調査、試掘調査、工事立会を行いました。
- ・歴史的資料について再精査し、資料整理を図りながら中性紙収納箱等への入替作業を進めました。

【文化財保護施設の整備】(歴史民俗資料館)

- ・歴史民俗資料館では、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、来館者の方々に、企画展示、歴史講座、体験教室(子ども向け・成人向け)、各種講座を行ってきました。
- ・来館者の利用しやすい環境を整えるべく、表示の整備・工夫、改善を図りました。展示内容にも分かりやすさを心掛け実施してきました。
- ・庁内関係課と協議を行い、今後の計画的な施設改修等について検討を進めました。
- ・松原団地が高層化され新しい街として生まれ変わったことを機に、「草加×東洋一のマンモスだんち展」と題して企画展を実施し、専門家による講演会を開催、関係資料を図録にまとめました。
- ・地域との連携・交流を図るべく、旧草加町四丁目・五丁目・六丁目町会の方々を始め、草加駅前一番通り商店街の皆様への広報活動、また、草加宿案内人の会の方々と懇談して、歴史説明などの統一性を図りました。
- ・館の開催する行事等の広報活動として、市のホームページはもとより、「れきみんだより」の発行、フェイスブックの活用、各公共施設へのポスターやチラシ配布、市の広報、新聞各社、各テレビ局への取材要請、情報提供を行い、来館者を得ることができました。また、埼玉県博物館連絡協議会加盟館園へのポスター配布、所属するブロック館園へは図録を配布しました。

- ・歴史民俗資料館について、予算の兼ね合いもあるかと思いますが、他に事例もあるのでAR(拡張現実)などの技術を活用した展示を考えてみてはどうでしょうか。
- ・広報で企画展等がお知らせされるなど、市民の目に触れる機会が増えた気がします。ここ数年、限られたスペースで企画展を実施するなど 工夫されていてリピーターが増えていると思います。
- ・歴史民俗資料館は建物自体が貴重な建物ですし、物理的に狭いと思うので、資料の保管は計画を立てて考えていくことが必要ではないでしょうか。
- ・これまで順調に伸びていた実績がコロナで低下したことは残念です。今後、コロナを乗り越えて復活してほしいです。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	17,693,370	20,462,373	17,177,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	17,640,270	20,443,873	17,154,000
		特定財源	53,100	18,500	23,000
	文化遺産の発掘・保存・有効	活用推進事業	5,184,891	8,295,017	4,009,000
個事	国指定名勝「おくのほそ道の風景地	! 草加松原」の保存・活用推進事業	570,292	226,531	800,000
加業	歷史民俗資料館管理運営事	業	11,938,187	11,940,825	12,368,000
務名		』草加松原」の保存・活用推進事業 業			
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	(1) 草加市民や来草者が訪れてみたいと思える魅力ある歴史民俗資料館の事業を企画する。講演・講座・企画展・体験講座など楽しく学び、草加の歴史や文化を知り、愛着を持ってもらえるよう心掛け、来館者増につなげていきます。 (2) 歴史民俗資料館において、講座、歴史に関する講演会、文化財関連の講座の開催、子どもたちのための体験教室、その他季節ごとの催しを可能な限り展開し、市民や来草者に館の存在意義を示していきます。			(1) 6,851人	(1) 15,800人
成	指標名			(2) 67回	(2) 95回
果指標	(1) 歴史民俗資料館来館者数	(1) 歷史民俗資料館来館者数			
INK	(2) 年間講座等(講演、講習、	体験教室)開設数			

所属評価・達成状況

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることにより、年度内2回の緊急事態宣言発令があり、それに伴い閉館期間がありました。また、開館中も感染防止策のため入館者制限や講座参加者の制限などを行い、例年の半数以下の入館者数となりました。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることによる閉館や行事の自粛等が続いたため、実行できなかった行事や講座があり、実績が落ち込みました。

【文化財保護意識の高揚】〔評価B〕

- ○「草加お宝かるた」の活用、指定文化財の所有者との意見交換、歴史民俗資料館の企画展や講座などの取組により文化財に対する親しみを深め、市民共有の財産として大切にしていこうという思いが育まれました。
- ○草加松原について、整備基本計画に基づいた庁内検討組織を立ち上げ、計画に基づく整備などについて検討及び情報共有を図り、事業を進めることができました。
- △『草加の歴史と文化財ハンドブック』について策定から8年以上経過していることから、一層の活用を図るために内容のリニューアルを進める必要があります。

【文化財保護体制の確立】〔評価B〕

- ○工事により滅する埋蔵文化財について発掘調査を行ったことで記録保存を進めることができました。また、試掘調査により開発工事による遺跡への影響などを確認することができました。
- △調査報告がまだできていない遺跡について、遺跡の記録保存を完遂するため、遺構の確認や遺物を整理し、調査報告書の予算 化をし作成する必要があります。
- △発掘に伴う遺物等を適正に保管する場所がありません。今後も遺物等の件数が増加する見込みがあることから、早期に保管場所を確保する必要があります。
- 成 △市史編さん事業等で収集した未整理の資料等について、学術的活用等を図るため整理を行う必要がありますが、作業量が膨大 果となるため、整理に関わる体制整備を検討する必要があります。

O【文化財保護施設の整備】〔評価B〕

- **評と** ○新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で休館期間もありましたが、換気、手指消毒、検温、人数制限等万全の対策をして事業 計画を進めることができました。また、厳しい状況の中、次代を担う人材育成であるインターンシップ、学芸員実習を行い、実習内容 題 の充実に努めることができました。
 - △ ○職員一人ひとりが能力をいかし、各企画展において展示方法やレイアウトを工夫し、動線を変えるなど改善に努めることができ、 学芸活動を充実させることができました。
 - ○市のホームページはもとより、マスコミへの働きかけ、「れきみんだより」の発行、チラシ配布、Facebookの活用など広報活動の充実に努めました。
 - ○れきみん講座など、回数は限られた中でしたが、新たな講師陣の発掘に努めました。
 - ○企画展を開催し、その都度関係資料をまとめた図録を作成することができました。
 - △歴史民俗資料館躯体健全性調査によって確認された1階スラブ下の鉄筋爆裂箇所を補強する必要があります。また、トイレは、 隔壁が薄く、上下ともに遮蔽されておらず、男女のプライバシーが守りにくい上、数も少なく、バリアフリーに対応しておらず、高年者 や体に不自由のある方が来館しても利用しにくい状況にあります。
 - △諸設備が老朽化しており、修繕が追い付かない部分もあります(展示ケース・事務室エアコン・出入口扉等)。
 - △収蔵資料の整理・見直し業務においては、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、計画通りに進めることができませんでした。今後は、データベースの充実へ向け計画の再検討を図ります。

【文化財保護意識の高揚】

- ・新小学校1年生を対象に「草加お宝かるた」を配布し、大会を開催するなど活用を図ります。
- ・文化財調査報告書38を作成します
- ・『草加の歴史と文化財ハンドブック』のリニューアルについて検討します。
- ・草加松原について、引き続き庁内会議、保存活用委員会の検討を踏まえ計画的な整備の進行管理を図ります。

【文化財保護体制の確立】

- ・令和元年度に発掘調査を行った遺跡について、遺物・遺構等の整理を行い、調査報告書の作成ができるよう準備を進めま
- ・埋蔵文化財包蔵地での土木工事に対し、試掘・工事立会により遺跡等の確認を引き続き行います。また、事業者等による 確認に基づき土木工事に対する指導等を図ります。
- ・市史編さん事業等で収集した未整理の資料等について、整理を図るための方策について検討を進めます。

【文化財保護施設の整備】

- ・今後、地域の身近な歴史や文化についての企画展を計画していきます。令和3年度には「草加の消防展」、学制発布150 年を迎える令和4年には、「草加の教育展」などを計画していきます。地域との連携を図る意味で、宿場まつりに関連した企 画展を引き続き開催します。
- ・市民ニーズに応えるとともに、充実した企画展や講座を開催し、リピーターを増やす努力をしていきます。
- ・歴史民俗資料館の収蔵資料の整理・見直し業務を計画的に進め、データベースの充実を図ります。また、収蔵資料の基本 データや写真について、市民に活用方法を広報していきます。 ・既存の収蔵資料を整理していく中で、大切な文化財を将来に渡って保存し、活用を図っていきます。
- ・地域の資料を活用しての古文書講座を継続開催していきます。その中で、資料を扱える市民ボランティアの育成に努め、 資料整理等の講習を行います。
- ・国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」について関連した歴史講座を継続して開催します。
- ・歴史民俗資料館の改修等を進めるに当たって、展示・運営、将来の在り方を含め、専門家の指導のもと、市民の意見等も 取り入れながら、計画的に進めていきます。
- ・展示解説パネルや展示資料の更新を行っていますが、市民の皆様を始め来館者に興味・関心を持って来館していただけ るように引き続き作業を進めていきます。
- ・講座やイベント情報など工夫して情報発信してきましたが、更に多種多様な情報発信に努めます。

令和2年度点検及び評価表 基本構成 Π 学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の推進 担当課名 総合評価 次基 火 教 計 基本目標 4 学びの成果が発揮される生涯学習の推進 育 中央図書館 В 画 振 4-4 読書活動を支える図書館サービスの充実 施 策 睴

本市における「知の拠点」として、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、教養、調査研究、レクリエーションの三つを施設目的として掲げる図書館法に基づき、「図書・その他の資料の充実及び効果的・効率的な提供」「郷土資料等の充実」「レファレンスの充実」「誰もが使いやすい図書館サービスの充実」「子ども読書活動の推進」「快適な利用環境の整備・維持」を柱として個々の取組を推進します。

【図書・その他の資料の充実及び効果的・効率的な提供】

- ・中央図書館、6公民館図書室等の資料の新陳代謝に努め、魅力ある蔵書を整備しました。リクエストを受けた所蔵のない資料は相互 貸借により提供しました。また、利用ニーズを捉え、バリアフリー機能を取り入れた電子書籍を増やすことで電子図書館の充実を図りま した。
- ・図書館ホームページからの予約を促進し、中央図書館と6公民館図書室等を結ぶ図書館ネットワークの活用や電子図書館により、効果的・効率的に資料を提供しました。
- (参考:0~15歳の人口1人当たりの児童書の年間貸出資料数 8.1点
 - 16歳以上の人口1人当たりの一般書等の年間貸出資料数 1.5点
 - 児童書の年間貸出数 260,487点 0~15歳の人口 32,044人
 - 一般書等の年間貸出数 335,603点 16歳以上の人口 217,908人)
- ・「草加市における新たな図書館の在り方検討のための基礎資料」を作成し、第2回及び第3回草加市立図書館協議会での意見聴取後に教育委員会に報告するとともに、市長部局との協議に着手しました。

【郷土資料等の充実】

・おくのほそ道やドナルド・キーン等草加にゆかりのある資料や人権及び平和に関する資料の収集に努め、郷土資料等の充実を図るとともに、ギャラリー展示や排架の工夫を行いました。また、ドナルド・キーン氏のご友人で、草加市制60周年記念公演『越後國柏﨑弘知法印御傳記』(古浄瑠璃)を発見した早稲田大学名誉教授の鳥越文蔵氏の著作を集めた「鳥越文蔵コーナー」をキーン氏のコーナーに併設し、周知を図りました。

【レファレンスの充実】

内

容

- ・3階一般室にWi-Fiを導入した持込み端末利用席(8席+16席)やオンラインデータベース端末席(2席)を設置し、利用者自ら調査研究ができる環境を整備しました。
- ・既存の調べ方案内「パスファインダー」を資料の棚番号変更に対応させ、館内や図書館ホームページで周知を行いました。

では、 「誰もが使いやすい図書館サービスの充実」 動し、一郎安及び旧音宮の木の並び替える。 目8

- ・一般室及び児童室の本の並び替えや、見やすい案内表示(ピクトグラム)の掲示等を行いました。
- ・電子図書館では、音声読み上げや文字拡大機能を取り入れた電子書籍を購入し、テーマ別に特集を組み、利用者の関心を高めました。
- 実・視覚障がい者等に点字資料、大活字本、LLブック等の書籍を提供しました。
 - ・視覚障がい者に対面朗読や録音図書(DAISY)の作成・提供を行いました。

【子ども読書活動の推進】

- ・子ども読書活動推進計画に係る今年度の実績見込等を取りまとめ、第3回草加市立図書館協議会で報告しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら子ども読書活動推進に資する取組を行いました。
- ①小学校に対する調べ学習及び総合学習への資料提供(随時)
- ②小学校サービスコーナーでの貸出(2週間に1度)
- ③児童室での職員や市民ボランティアによる乳幼児や小学生向けの読み聞かせ(週4日)
- ④小中学校と連携した「令和2年度ビブリオバトル・草加の陣」をオンラインで実施及び児童室で紹介された本の展示を実施(12月から3月)等

【快適な利用環境の整備・維持】

- ・中央図書館空調設備等改修工事を完了しました。8月5日の中央図書館の再開に合わせて、2階に飲料の自動販売機を設置するとともに、新型コロナウイルスに対して有効な書籍除菌機を3階一般室と4階児童室及び、公民館・文化センターに各1台設置しました。・ハーモネスタワー松原団地大規模修繕工事に着工しました。令和2年度は足場を設置し、外壁及び館内ロビー壁面の洗浄作業や塗装作業を行いました(工期:~令和3年10月31日)。
- ・11月14日に開館20周年記念事業を開催するとともに3月に開館20周年記念誌を発行しました。

- ・ICTの時代になり、図書館の在り方が問われていると思います。知の拠点としての存在意義を改めて検討してみてはいかがでしょうか。
- ・紙の本には紙の良さがあるので、子どもの読書のことも考えて、デジタル化とのバランスをうまくとって取組を進めてほしいです。
- ・誰もが使いやすい図書館サービスの充実として、音声読み上げ文字拡大機能を取り入れた電子書籍を購入したことは素晴らしいことだと 思います。
- ・価値観が多様化する中で図書館でなければできないことを、先進的な事例を参考にして企画してほしいです。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	208,062,873	449,660,149	129,217,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	152,070,403	160,935,579	125,640,000
		特定財源	55,992,470	288,724,570	3,577,000
個事	図書館情報サービス・管理運	営事業	208,062,873	449,660,149	129,217,000
別業					
個別事務					
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
		冊数を増やして、図書館の使命 文化の向上と生活課題の解決			
<u> </u>	指標名			2.38点	5点
成果指	市民一人当たりの年間貸出資料数				-7111
標		所属	評価·達成状況		

魅力ある蔵書の整備に努め、各種文化事業及び子ども読書活動を推進する取組を実施しましたが、市民1人当たりの年間貸出 資料数は目標を達成するには至りませんでした。

空調設備等改修工事や新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や図書館業務を縮小したことが大きく影響しています。

【図書・その他の資料の充実及び効果的・効率的な提供】〔評価B〕

○新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、ホームページからの予約を受けた図書資料や電子図書館からの電子書籍の貸出により読書支援を継続することができました。

△公民館での貸出の増加に伴い、予約棚が不足する等の問題が生じているため、遅配等利用者への影響が最小限となるよう対策 を講じる必要があります。

○草加市立図書館協議会での意見聴取や教育委員会への報告、市長部局との協議により、図書館に求められる社会的な機能や 役割を再確認し、草加らしい特色のある分館の在り方について検討するに当たっての基礎認識を共有しました。

△図書館に求められる社会的な機能や役割の再確認や特色のある分館の在り方について、市長部局との協議経過を教育委員会 及び草加市立図書館協議会に随時報告しご意見をいただくとともに、情報を共有しながら議論を深める必要があります。

【郷土資料等の充実】〔評価B〕

○ドナルド・キーン氏の3回忌に当たり市と共催でギャラリー展示を行ったことで、利用者におくのほそ道やドナルド・キーン氏の功績を紹介することができました。

△郷土資料の活用により、ふるさと草加の歴史や文化を広く市民に周知することが必要です。

【レファレンスの充実】〔評価B〕

○利用者からの要望によりWiーFiを導入した持込み端末利用席を設置したことで、情報化に対応したサービスを提供することができました。

△パスファインダーやオンラインデータベースの利用方法、持込み端末利用席を広く周知し、図書館の利用者を増やす必要があります。

△メールでのレファレンス対応等非来館サービスについて検討する必要があります。

成【誰もが使いやすい図書館サービスの充実】〔評価B〕

- ②書架の案内表示(ピクトグラム)や見出し板を新しく見やすいものに替えたことで、利用者が必要な本を探しやすくなりました。
- ○電子書籍数の増加やテーマ別に特集を組んだほか、広報による周知で電子図書館の利用促進を図りました。

(貸出実績:4月1,072点、・・・、1月1,752点、2月1,570点、3月1,564点)

価₌ △読書バリアフリー法に係る国や県の動向を注視し、図書館における障がい者サービスの在り方を検討する必要があります。

<mark>いる 「野</mark>【子ども読書活動の推進】〔評価B〕

○草加市立図書館協議会で今年度の実績見込等を取りまとめることにより、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中における子ども 読書活動の取組状況を確認・把握するとともに、子ども読書に携わる各教育施設や市民ボランティアと情報を共有しました。

△子どもと保護者を対象としたアンケート調査を実施し、子ども読書活動推進計画に係る成果指標の中間確認を行うとともに次期計画策定の基礎資料として取りまとめる必要があります。

- ○児童室での読み聞かせの開催により、子どもには本に興味関心を持ってもらい、保護者には子ども読書の大切さを理解していた だきました。
- ○新型コロナウイルスの感染拡大が続く中においても、小中学校や指導課と連携し「令和2年度ビブリオバトル・草加の陣」を継続することができました。
- △新型コロナウイルスの感染拡大が続く中において、安全・安心なイベントの実施が必要となります。

【快適な利用環境の整備・維持】〔評価A〕

○空調設備の改修や照明器具のLED化工事の完了及び飲料自動販売機の設置等により中央図書館における快適な利用環境を 実現しました(飲料販売実績:1,779本)。また、書籍除菌機の設置により、安全・安心な図書館資料の提供を図りました(利用実績:中央図書館19,386回、公民館2,901回)。

○ハーモネスタワー松原団地大規模修繕工事に伴う外壁及び館内ロビーの塗装等により、明るく快適な利用環境を実現しました。 △利用者への影響を最小限に抑えながら、ハーモネスタワー松原団地大規模修繕工事を完了する必要があります。

【図書・その他の資料の充実及び効果的・効率的な提供】

- ・中央図書館では、ユニバーサルデザインに配慮した電子図書館の充実や児童書に重点を置いた魅力ある蔵書の整備、公民館図書室等とのネットワークの活用により、図書館資料を効果的・効率的に提供します。
- ・積極的な情報発信により、図書館の認知度を高め、貸出数を増やします。
- ・図書館に求められる社会的な機能や役割の再確認や特色のある分館の在り方について、市長部局との協議経過を教育委員会及び草加市立図書館協議会に随時報告しご意見をいただくとともに、情報を共有しながら議論を深めます。

【郷土資料等の充実】

- ・おくのほそ道やドナルド・キーン等草加にゆかりのある資料の収集に努め、郷土資料の充実を図るとともに、草加にゆかりのある文芸等の展示を行います。
- ・人権及び平和に関する資料の充実を図り、広く市民に周知します。

【レファレンスの充実】

- ・市民の生活課題の解決や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用を促進し、調べ物に役立つ図書資料等を分かりやすく紹介するパスファインダーやレファレンス事例等の情報を発信します。
- ・メールでのレファレンス対応等非来館サービスについて検討します。
- ・持込み端末利用席やオンラインデータベース端末の利用方法等を周知し、利用者によるセルフレファレンスを支援します。

【誰もが使いやすい図書館サービスの充実】

- ・いつでもどこからでも利用可能な電子図書館の充実を図り、視覚障がい者等に音声読み上げや文字拡大機能付きの電子書籍を提供するとともに図書館に来館が難しい方の利用促進を図ります。
- ・視覚障がい者等に対し、点字資料、大活字本、LLブック等の周知に努め、図書館の利用促進を図ります。
- ・視覚障がい者に対し、音訳協力者による対面朗読の実施及び録音図書(DAISY)の作成・提供を行います。
- ・図書館における障がい者サービスの充実を図るとともに、市の読書バリアフリー計画を策定します。

【子ども読書活動の推進】

- ・草加市立図書館協議会等を開催し、図書館奉仕に係る意見の聴取や草加市子ども読書活動推進計画の進捗管理を図ります。
- ・子どもと保護者を対象としたアンケート調査を実施し、子ども読書活動推進計画の成果指標の中間確認を行うとともに次期計画策定の基礎資料として取りまとめます。
- ・児童サービスの充実を図り児童書の貸出数を増やします。
- ・学校及び読書に携わる市民や団体と連携して子ども読書活動推進に資する取組を行います。
- ①調べ学習及び総合学習への資料提供
- ②読み聞かせやおはなし会、工作会等の開催
- ③「ビブリオバトル・草加の陣」の開催等

【快適な利用環境の整備・維持】

- ・排煙窓の修繕に係る調査及びエレベーター巻上機の綱車、調速機ロープの交換修繕を行います。
- ・現在はポスター掲示やチラシの配布でお知らせしている図書館主催事業や行政情報等を、より分かりやすく案内するため、 デジタルサイネージ(広告付電子案内板)の導入について検討します。
- ・ハーモネスタワー松原団地大規模修繕工事に伴う、中央図書館の外壁やサイン、エレベーターホール等の改修工事を完了します(工期:~令和3年10月31日)。

令和2年度点検及び評価表 人権を尊重し合う教育の推進 基本構成 \blacksquare 担当課名 総合評価 次基 火教育 人権教育の推進 基本目標 5 指導課 育 В 画 教育支援室 学校人権教育の推進 5 - 1

児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた人権を大切にし合う教育を推進し、人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理 解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を目指します。

また、インターネットによる人権侵害や性の多様性などの新たな人権問題にも対応できるよう、管理職対象の研修会を始め、教職 員の人権教育研修の充実を図ります。人権感覚を磨く授業づくりを推進するとともに、実感を伴うような研修会などを通して教員の 指導力の向上を図ります。

さらに、子どもの人権擁護の視点に立ち、基本的人権を尊重する意識の醸成・定着・高揚に努めます。

【学校人権教育の推進】(指導課)

- ・人権感覚育成プログラムの活用について様々な場面で紹介するとともに、年間指導計画に位置付けるよう指導しました。
- ・新採用教員研修、3年次教員研修、5年経験者研修、キャリア・アップ研修、臨時的任用教員・任期付き教員研修、人権教 育管理職研修会等、人権意識の高揚を図るための様々な研修会を実施しました。
- ・自他を大切にする心情を育むため、人権作文・人権標語に全小中学校で取り組み、草加市人権文集「なかま」を発行しまし た。また、人権標語の代表作品を短冊にし、全小中学校及び公共施設に掲示しました。
- ・3年次教員が参加する現地研修会を11月に実施し、研修を深めました。
- 研修会等へ指導主事が出席し、同和教育に関する情報収集に努めました。

【児童虐待から子どもを守る取組の推進】(教育支援室)

- ・学校訪問等を通じて、学校において、児童虐待を早期発見、早期対応できる組織づくりを進めました。
- ・要保護児童対策地域協議会に、定期的に参加し、支援が必要な児童生徒の情報共有を行いました。
- ・子育て支援センターや児童相談所等の関係諸機関との連携を強化しました。
- ・不登校児童生徒に対して、学校からの要請に応じて、家庭訪問を実施しました(家庭訪問支援 延べ512回)。
- ・ケース会議に積極的に参加しました(ケース会議開催回数 延べ19回)。

活 動 内 容 実 績

- ・人権教育の在り方として、「人の気持ちのわかる」というのは大前提としてわかりますが、自分自身が尊重されているということがわからないと、人を尊重することはできないと思われるので、その視点が必要ではないかと思います。
- ・人権教育の実施に当たり、人権擁護委員の活用や、SNSがいじめの発端となることがあるため、携帯会社とコラボした人権教室 をやっているところもあるので、こういった外部団体を活用するなど工夫して進めてほしいと思います。
- ・子どもを守るためには、いろいろなチャンネルを持つことが大切だと思います。今後も、獨協大学の地域と子どもリーガルサービス センター等様々な団体・機関との連携を継続してほしいです。 ・虐待への対応については、問題を隠さず情報を共有することが大事だと思います。見えないふりをするのではなく、もしかしたらと
- いう視点を持って早期発見、早期対応をしてほしいと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)
	事務事業費	総額(円)	2,049,438	1,357,164	1,980,000
	(財源内訳・単位円)	一般財源	2,049,438	1,357,164	1,980,000
		特定財源	0	0	0
	学校人権教育推進事業		2,049,438	1,357,164	1,980,000
個別事務事業名					
別業					
^ず 名 務					
		成果目標		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)
	自他を尊重する人権意識の高 に育てます。	高揚を図ることで、人の気持ち6	のわかる児童生徒		
		指標名		① 97.3%	① 97%
成果指標	草加市学力・学習状況調査の質問紙調査における「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合 ① 小学校			2 94.9%	② 97%
②中学校					

小学校は、目標値を達成しましたが、中学校は、目標値には達成しませんでした。 今後も「特別の教科 道徳」の授業を核に、 学校の教育活動全体を通じて、人権教育を推進し、人権意識の高揚を図ります。

【学校人権教育の推進】〔評価B〕

- ○各種研修会を開催し、教職員の人権意識の高揚を図るとともに、児童生徒の人権意識を高めるための指導について研修 することができました。
- ○全小中学校において人権作文、人権標語の作成に取り組み、児童生徒の人権意識の高揚に努めました。
- ○「特別の教科 道徳」の授業を始め、全教育活動を通じて道徳的実践力の育成に取り組み、人権意識を高めることができま した。
- △人権教育研修会を引き続き開催し、教職員の人権意識の高揚を図り、児童生徒への人権教育の充実を図る必要がありま す。
- △人権教育研修会や「人権を考える市民のつどい」においては、引き続き、様々な人権課題について当事者や関係者からの 成 話が聴けるよう講師の選定について工夫する必要があります。
- △同和問題については、社会科等の関連の中で児童生徒が同和問題をテーマとして作文を書くなどの学習活動を工夫する 0 必要があります。

に関する。 に関する。 に関する。 に対する。 にがし、 にがしが、 にがしが、

- ○虐待対応において、学校、子育て支援センター、児童相談所と連携することができました。 題
- ○要保護児童対策地域協議会に参加し、その情報を学校と共有し、児童虐待の早期発見にいかすことができました。
- ○学校だけでは解決できない問題を抱えた児童生徒に対して、指導主事、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問を実 施することができました。
- ○医療機関との連携を行い、児童生徒や保護者を支援することができました。
- ○ケース会議を開き、組織的な支援体制の構築に努めました。
- △学校において、児童虐待を早期発見、早期対応できる組織づくりをより一層進める必要があります。
- △要保護児童対策地域協議会に参加し、生きた情報を入手し、学校と密な情報共有をする必要があります。
- △関係諸機関との連携を更に強化することで、各機関の専門性をいかし、問題の多様化に対応する必要があります。
- △学校だけでは解決できない問題を抱えた家庭への家庭訪問を更に充実させる必要があります。

【学校人権教育の推進】

価

降

- 様々な研修等で人権に関するテーマを取り上げ、現地研修会を含め、人権に関する研修の充実を図ります。
- ・様々な人権課題に対して,校内研修会が充実するよう指導・助言します。
- ・教職員研修会を重視し、管理職の研修会に外部講師を招いた研修会を開催するとともに、人権を正しく学ぶため各校が人権教育 全体計画に基づき、各教科等の年間指導計画に人権教育を位置付け、授業に取り組めるよう指導・助言します。
- 和 ・人権感覚育成プログラム第2集の内容を取り入れた学習活動や身近にある様々な人権問題を通した体験的な学習の充実を図り、 児童生徒の人権感覚や人権意識を養い、自他を大切にしようとする心情を育むことができるよう指導・助言します。
- 3 ・児童生徒が作成した人権に関する作文や標語を収めた人権文集「なかま」を発行し、人権・同和問題への取組に積極的に参加し 年 ます。
- 度 ・「人権を考える市民の集い」を開催し、多くの学校関係者及び市民が参加し、講演や情報提供を通して人権意識の高揚を図りま 以

【児童虐待から子どもを守る取組の推進】

- の ・学校において、児童虐待を早期発見、早期対応できる組織づくりを更に進めるために、学校に対して適切なアドバイスを行います。
- ・要保護児童対策地域協議会に参加し、常に新しい情報を入手し、学校と共有し、虐待の早期発見につながるサインを見逃さないよ 取 うにします。
 - ・児童生徒を取り巻く環境の多様化・複雑化に対応するため、関係諸機関との連携を更に強化するとともに、各機関の専門性をいか していきます。

 - ・学校だけでは解決できない問題を抱えた家庭への家庭訪問を、学校や関係機関と協力して、より一層充実させていきます。・学校におけるチーム体制の構築のため、校内ケース会議の開催や教員への助言など、校内支援体制整備の支援を行います。

	令和2年度点検及び評価表				
第三次教育振興基本計画	基本構成 Ⅲ		人権を尊重し合う教育の推進	担当課名	総合評価
			人権教育の推進	生涯学習課	В
	施策	5-2	社会人権教育の推進	<i>上涯</i> 子自床	D

市民が自ら考え行動できるよう、吉町集会所や公民館・文化センターにおいて、様々な啓発活動を実施し、更に学習機会を設けることで、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。

【社会人権教育の推進】

- ・吉町集会所運営委員会及び利用者会議を2回開催しました(内1回は書面開催)。
- ・吉町集会所において女性教室を開催しました。
- ・公民館・文化センターにおいて、人権教育講座や講演会等を行い、多様な人権問題を考える学習の場を提供しました。
- ・吉町集会所において、経年劣化していた机やいすの買換えや、網戸の新規設置、トイレサッシ及び非常用照明等の修繕を 実施し、利用者が安心して快適に利用できるように取り組みました。
- ・吉町集会所を継続的に使用していくため、草加市学校施設等長寿命化計画を策定しました。
- ・教育委員会交渉を始めとする各種行政交渉について、部落解放北足立郡協議会や部落解放同盟埼玉県連合会等と調整を図りながら対応しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年開催している成人教室や子ども教室、吉町集会所まつりは中止となりました。また、各公民館・文化センターで開催予定であった人権講座についても一部中止となりました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大が続く影響により、同集会所でのサークル活動等について利用制限をしました。

活動内容実績

- ・吉町集会所の老朽化について、限られた予算の中でも修繕していただいてありがたいです。
- ・人権教育は非常に重要です。お互いを思い合うことはもちろん大切ですが、憲法上、個人として尊重されることが前提であるため、そのことも忘れてはいけない視点だと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)		
	事務事業費	総額(円)	2,030,811	3,572,037	2,469,000		
	(財源内訳・単位円)	一般財源	2,030,721	3,572,007	2,468,000		
		特定財源	90	30	1,000		
個	社会人権教育推進事業		2,030,811	3,572,037	2,469,000		
別事							
務事							
· 業 名							
			字結値(令和2 年度)	目標値(令和5年度)			
	成果目標 実績値(令和2年度) 目標値(令和5年度) より多くの市民が様々な社会人権問題を解決できるように吉町集会所や公民館において、各種研修や講座を開催します。						
成果		674人	ーることで円滑に運営 徳会を行いました。 ニ対しての理解と周知				
指標	社会教育における人権教育事業参加者数						
121	所属評価・達成状況						
	新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることにより、講座やイベント等について、中止になったものが多数であったことから、参加者数は大幅に減少しました。						
京 一 京	【社会人権教育の推進】【評価B】 ○吉町集会所における事業計画や利用方針等を決めるために、運営委員会及び利用者会議を開催することで円滑に運するとともに、地域の方々が人権問題について学ぶことができるよう、利用者会議において人権DVD視聴会を行いました。 ○吉町集会所利用者の安全性を図るため、玄関前に手摺を設置しました。 ○公民館・文化センター人権講座において、様々なジャンルの人権問題を取り上げ、市民の人権問題に対しての理解と居を図りました。 ○北足立郡市町同和対策推進協議会において、行政間で調整を図りながら、人権団体との各種交渉等について適正にめることができました。 △多様化している人権問題について、講座や研修等で継続的に課題として取り上げ、理解促進を図る必要があります。						

【社会人権教育の推進】

年 度以 降 の 取 組

- ・吉町集会所の利用促進を図るとともに、今年度策定した草加市学校施設等長寿命化計画を基に、計画的な修繕、備品等の整備を実施する等、利用者が安全・安心して利用できるように施設の維持管理を行います。 ・多様化する人権問題について、吉町集会所、公民館・文化センターを中心とした人権講座、講演会等において市民の学ぶ
- 和 機会を提供します。 3
 - ・北足立郡市町同和対策推進協議会に加入している行政間で連携を図りながら、人権団体との交渉に対応をしていきます。

	令和2年度点検及び評価表					
第三次教育振興基本計画	基本構成		施策体系外事業	担当課名	総合評価	
	基本目標		施策体系外事業	総務企画課	В	
	施策	_	施策体系外事業	秘伤止凹床	Ь	

定例の教育委員会と必要に応じ開催される臨時会により、教育行政の方針その他所掌事項の事務処理をするとともに、研究会 等を行い教育行政の更なる活性化を図ります。

職員人事関係、草加市教職員等の表彰、総務企画課事務管理運営、職員研修、各種協議会負担金等及び旅費、会計年度任用職員健康管理、「草加の教育」「教育だより」発行及び会計年度任用職員に係る経費を執行することにより、事務局及び学校給食等の円滑な運営を図ります。

【教育委員会運営事業】

- ・教育委員会定例会12回、臨時会5回(4月9日、5月1日、8月6日、10月26日、2月15日)を開催しました。
- ・総合政策課と連携を図る中、総合教育会議を開催しました(2月15日)。

【総務企画課管理運営事業】

- ・第三次草加市教育振興基本計画に基づく進行管理を適正に行いました(5月27日、10月5日、6日、7日)。
- ・令和元年度の点検評価を実施し、報告書を9月市議会に報告し、ホームページ等により公表を行いました。
- ・教育長の秘書業務、教育委員会名義使用の適切な事務処理を行いました。
- ・教育委員会正規職員に係る人事異動、会計年度任用職員の任用・配置等を含む労務管理を行いました。
- ・「そうか教育だより」(広報そうか5月20日号折り込み)、「草加の教育」(8月)を発行しました。
- ・安全衛生委員会2回(9月24日、12月24日)を実施しました。

活動内容実績

令和2年度点検評価委員の意見等

・中央公民館等のイベントが中止等になっているので仕方ありませんが、ホームページの更新回数が減ってしまっています。コロナ後は増にできるよう、準備しておくことが必要だと思います。

		年 度	元年度 (決算額)	2年度 (決算額)	3年度 (予算額)		
	事務事業費	総額(円)	372,323,765	492,897,488	596,485,000		
	(財源内訳・単位円)	一般財源	372,323,765	492,897,488	596,485,000		
		特定財源	0	0	0		
	教育委員会運営事業		5,019,205	4,829,775	5,053,000		
個	総務企画課管理運営事業		367,304,560				
別							
事							
務事							
業							
名							
		成果目標					
		実績値(令和2年度)	目標値(令和5年度)				
	広報活動を充実させることで、						
成果指標		456回	700回				
	教育委員会ホームページの身						
	────────────────────────────────────						

最新情報の提供を心がけ、広報活動の充実に努めました(602,432回のアクセスがありました)。

【教育委員会運営事業】〔評価B〕

- ○教育委員会定例会等を円滑に運営しました。
- ○総合政策課と連携を図る中、総合教育会議を開催することで、市長と教育委員会とで、教育施策の方向性を共有することができました。
- △総合教育会議の円滑な運営及び活発な意見交換がなされるためにも、今後も総合政策課との綿密な調整が必要となります。

【総務企画課管理運営事業】〔評価B〕

- ○第三次草加市教育振興基本計画に基づく進行管理を行うとともに、点検評価を実施し、各施策の成果と課題を共有することができました。
- <mark>成</mark> ○会計年度任用職員の年度途中退職に伴う速やかな欠員補充と適正な配置及びフリー調理士の柔軟な活用(派遣434日) 果を行い、安定した学校給食の提供をすることができました。
- △第三次草加市教育振興基本計画に掲げる基本理念を実現するためにも適切な進行管理をする必要があります。
- △会計年度任用職員の円滑な欠員補充と新規採用時の人材確保の安定化を図る必要があります。 課

価課題ム

3年度以降の取組

【教育委員会運営事業】

- ・教育委員会定例会等を円滑に運営します。
- ・総合教育会議の開催に係る調整等について、総合政策課と連携を図りながら行います。

令 【総務企画課管理運営事業】 和 ・第三次草加市教育振興基本

- ・第三次草加市教育振興基本計画の基本理念の実現に向け、適切な進行管理を行います。
- ・会計年度任用職員に係る給料計算ほか、人事全般に係る事務を適正に行います。

資 料

学校概要 令和2年度草加市小中学校学年別児童·生徒数·学級数等一覧表

383

366 158 524

256 225 481

415 195 610

46 25 71

369 170 539

12,123 6,068 18,191

> 21 11 32

十 章 章 章 数

(令和2年5月1日現在)

県費教職員数

学 級 数 特別支援学級

通常学級

児童·生徒数

学校数

○草加市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成20年10月10日 教委告示第20号

改正 平成27年3月25日教委告示第6号

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第 162号)第26条の規定により、草加市教育委員会(以下「委員会」という。)が その権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価(以下「点 検及び評価」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(平27教委告示6・一部改正)

(点検及び評価の対象)

- 第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属する前年度実施した事務とする。 (点検及び評価の実施)
- 第3条 前条に規定する事務について、所管する課及び室等が点検及び評価表を作成する。
- 2 点検及び評価の方法及び結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育 に関し学識経験を有する者(以下「点検評価委員」という。)から意見を聴取する。
- 3 点検及び評価に関し必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。
- 4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。 (点検評価委員)
- 第4条 点検評価委員は3人とし、委員会が委嘱する。
- 2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前 任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告等)

第5条 点検及び評価の結果は、毎年市議会9月定例会に報告し、かつ公表するものとする。

(点検及び評価結果の反映)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成等を行

うものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務部総務企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

(施行期日)

1 この要綱は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 第5条の規定にかかわらず、平成20年度における市議会への報告は、12月定 例会とする。

附 則 (平成27年教委告示第6号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

草加市教育委員会

〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号

電 話:048-922-2497 (総務企画課)

FAX: 048-928-1178